

えひめ農林水産業 振興プラン 2021



令和3年3月
愛媛県

～はじめに～

愛媛県では、温暖な気候や緑豊かな広大な森林、瀬戸内海と宇和海の多様性に富んだ漁場環境等の恵まれた自然条件を生かして、多品種周年供給体制が確立されたかんきつをはじめ、はだか麦やマダイ、真珠、木材製品などの良質で多彩な農林水産物が生産されており、農林水産業は本県の重要な基幹産業として地域の雇用と経済を支えています。

しかしながら、近年、農林水産業を取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少にともなう担い手不足や国内市場の縮小、グローバル化の進展による地域間競争の激化など、一段と厳しさを増しております。

また、平成30年の西日本豪雨災害では、県内のかんきつ園地をはじめ、農地や林地が甚大な被害を受けたほか、今般の新型コロナウイルスの感染拡大によって、一部の品目で需要が落ち込み、価格が低迷するなど、新たな課題も生じているところです。

こうした一方で、高級ブランドかんきつ「紅まどんな」や良食味米「ひめの凜」、県産養殖スマのトップブランド「伊予の媛貴海」、そして「愛媛あかね和牛」、「媛すぎ・媛ひのき」といった、本県のオリジナル産品が国内外で広く好評を得ており、加えて、県が長年かけて開発したかんきつの新品種「紅プリンセス」など、近い将来大きく花開く可能性を秘めた魅力のつぼみも着実に育ってきています。

更に、産地においては、農林水産業の魅力発信や他産業との交流等を通じて、都市部からの移住就農の促進や農山漁村の活性化が図られるとともに、とりわけ、豪雨災害の被災地では、意欲ある若い生産者の皆さんが未曾有の災害を目の当たりにしても、決してくじけることなく、被災前よりパワーアップした産地づくりに懸命に取り組んでおられるなど、愛媛の農林水産業には、幾多の逆境を乗り越えていける高いポテンシャルが備わっていると思っております。

このたび、県では、コロナ禍で生じた社会の変化もふまえながら、県内でまじめにがんばる生産者の皆さんと力を合わせ、本県の農林水産業と農山漁村に新たな価値を生み出し、それを大きく育て、次の世代へと確実に引き継いでいく、そうした未来に思いをはせて、農林水産業を担う「人づくり」、農林水産業で輝く「モノづくり」、農林水産業を支える「地域づくり」の三つを柱とした「えひめ農林水産業振興プラン2021」を策定しました。

主役は、農林水産業にたずさわるすべての皆さんです。

愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展に向け、共にチャレンジしていきましょう。

令和3年3月

愛媛県知事 中村時広



～もくじ～

【第1章】

総括編

1	えひめ農林水産業振興プラン2021の概要図	1
2	本県農林水産業の現状	2
3	農業・林業・水産業の共通の取組	
(1)	西日本豪雨災害からの創造的復興	6
(2)	新型コロナウイルスの影響と対応	7
(3)	魅力あるブランド産品	8
(4)	県産農林水産物の輸出拡大	9
(5)	食料自給率の維持・向上	10
(6)	「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介	11

【第2章】

農業編

1	農業編の概要図	13
2	取り組んでいく施策	
(1)	えひめ農業を支える担い手を確保・育成します	14
(2)	競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます	17
(3)	地域でつながるえひめ農業を目指します	22
3	各地域ブロックの取組	27

【第3章】

林業編

1	林業編の概要図	35
2	持続可能な開発目標（SDGs）への貢献	36
3	取り組んでいく施策	
(1)	えひめの森林・林業を支える担い手を確保・育成します	37
(2)	林業・木材産業の持続的かつ健全な発展を目指します	40
(3)	地域とつながるえひめの森づくりを進めます	43

【第4章】

水産業編

1	水産業編の概要図	47
2	取り組んでいく施策	
(1)	えひめの水産業を支える担い手を確保・育成します	48
(2)	えひめの水産業の発展を目指します	52
(3)	えひめの水産業を育む地域づくりに取り組みます	57

用語の解説	63
-------	----

第1章 総括編

1 えひめ農林水産業振興プラン2021の概要図

西日本豪雨災害からの創造的復興

- ・産地の復旧・復興を進めます
- ・今後に備え、生産基盤の強靱化、農業保険の利用拡大などに取り組みます

新型コロナウイルスの影響と対応

- ・影響を受けた品目の需要回復・拡大、生産者の経営の維持・安定に努めます
- ・消費の変化を捉えた販売方法を普及します

県産農林水産物の輸出拡大

- ・各国のニーズに対応した輸出の拡大を図ります

魅力あるブランド産品

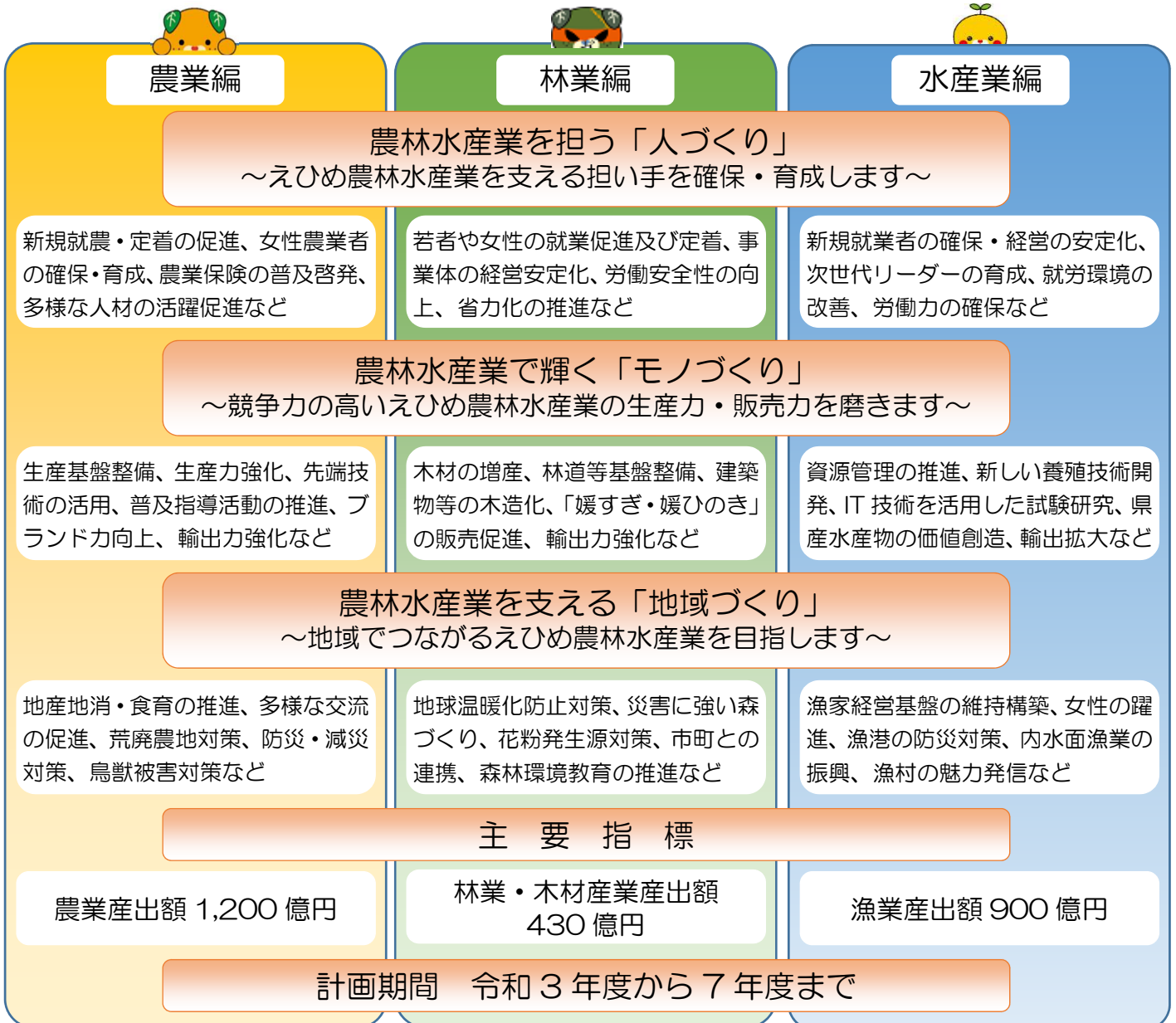
- ・「愛」あるブランド産品を先頭に、県産品のイメージ向上を図ります
- ・次代を担う魅力ある新品種を開発します

食料自給率の維持・向上

- ・付加価値の高い農林水産業を展開します
- ・食育・地産地消等を推進します

「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介

- ・元気な生産者の情報を発信します



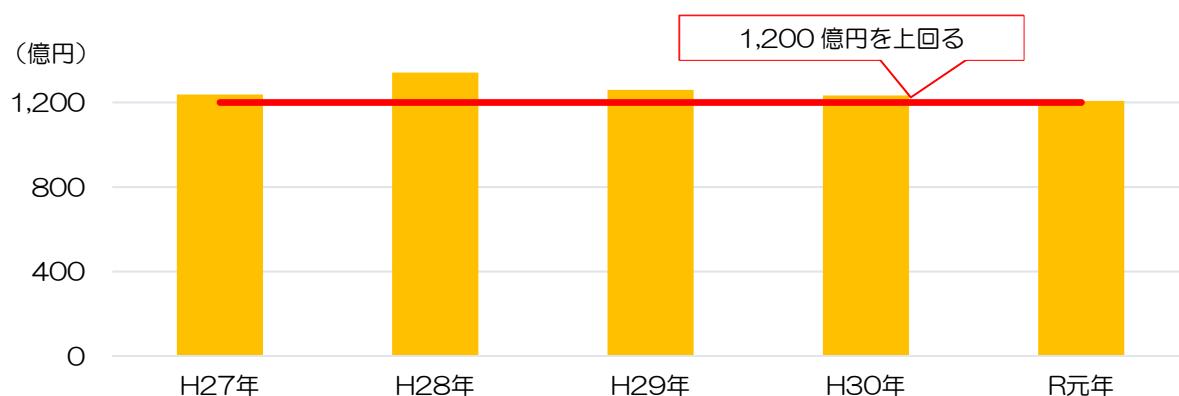
愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展・次世代への継承

2 本県農林水産業の現状

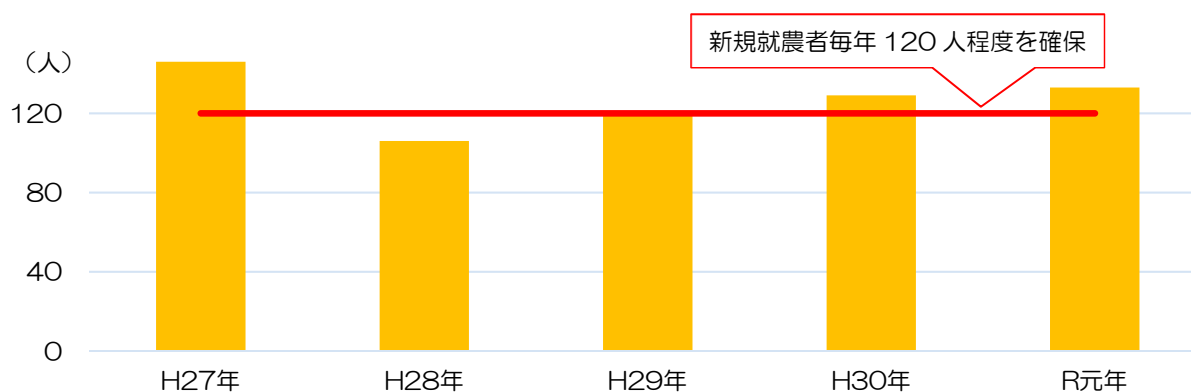
県では、平成28年3月に「えひめ農業振興基本方針2016」、「えひめ森林・林業振興プラン」、「愛顔のえひめ水産振興プラン」を策定し、令和2年度までの5年間、本県農林水産業の体質を強化し、「夢と希望が持てる愛顔あふれる愛媛農林水産業」の実現に取り組んできました。

この間、農業については、「かかわる」、「つながる」、「つたえる」を基本方向に、愛顔あふれるえひめ農業・農村の実現に向けて取り組み、指標とした『農業産出額1,200億円』を上回るとともに、柑橘王国としてゆるぎない地位を確立し、毎年120名程度の新規農業就業者（40歳未満）を確保、国内外における県産品の販路拡大など、本県の農業・農村の持続的な発展に努めてきました。

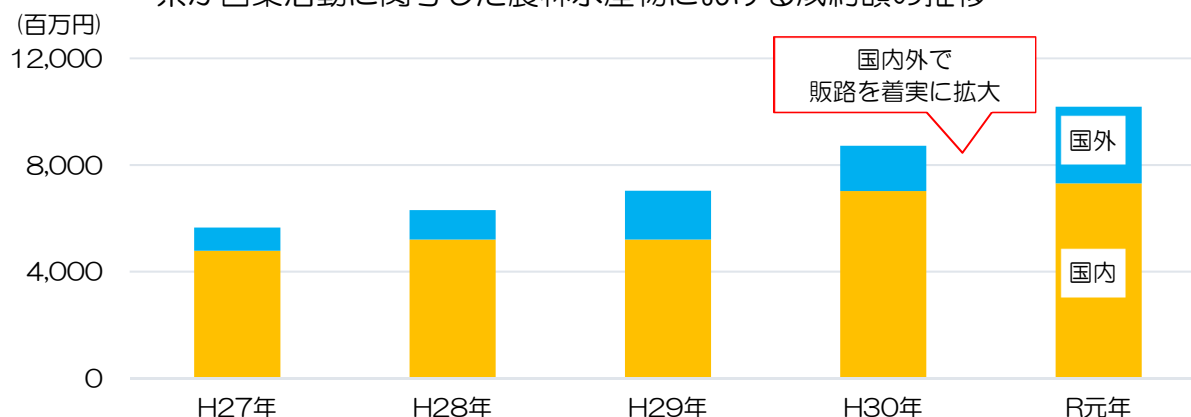
農業産出額の推移



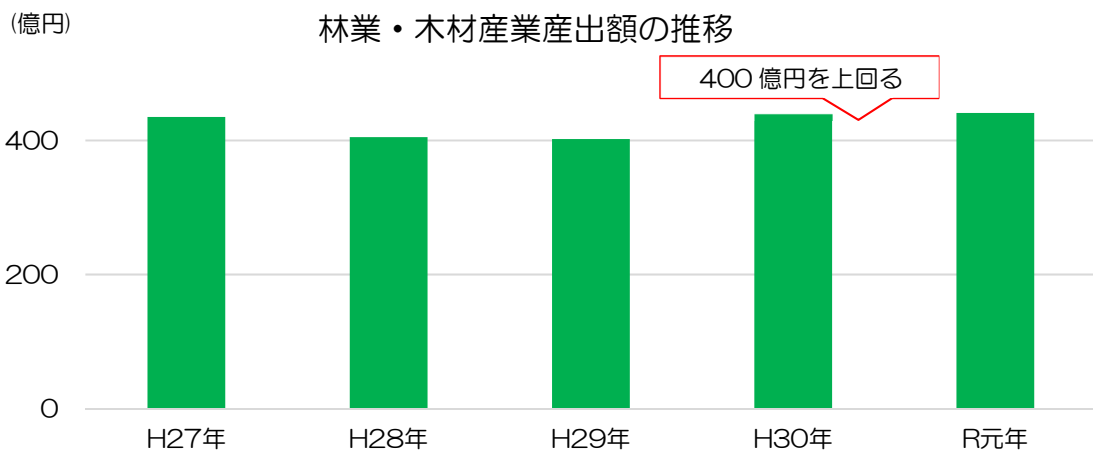
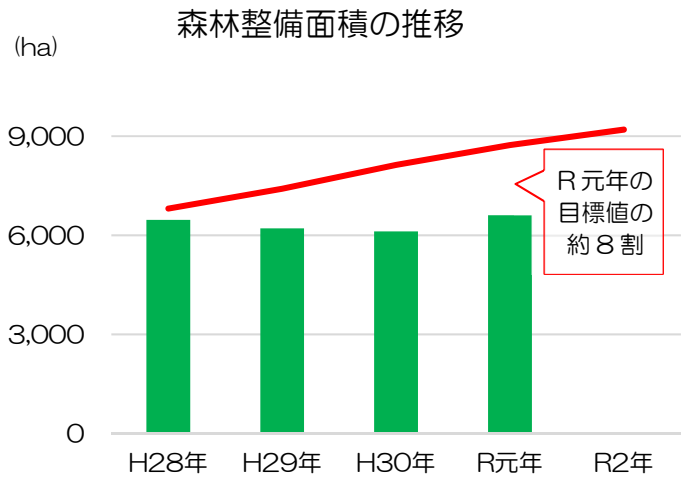
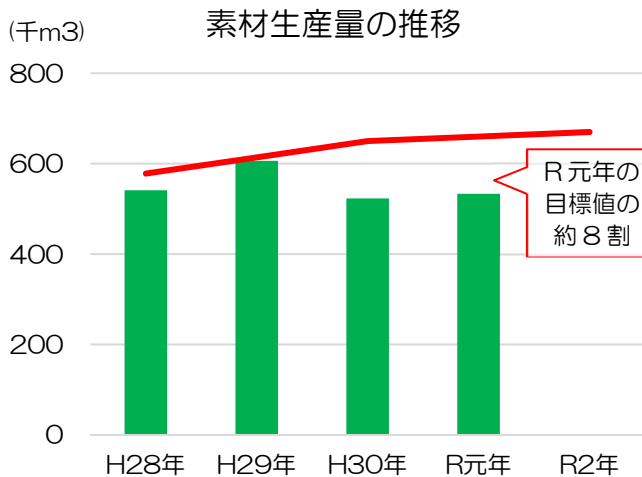
新規就農者（40歳未満）の推移



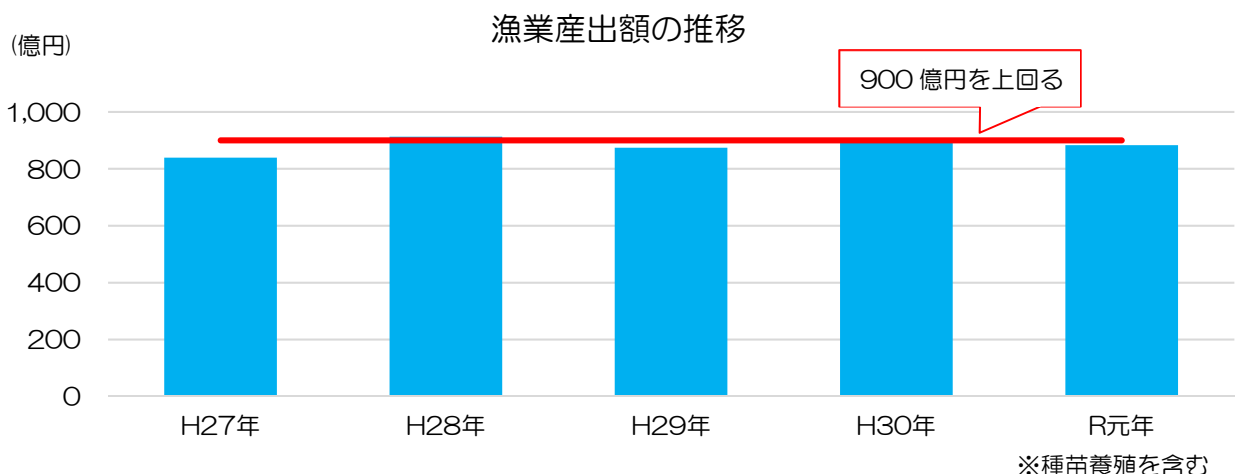
県が営業活動に関与した農林水産物における成約額の推移



林業については、「林業の成長産業化と健全な森林づくり^{もり}」を基本理念に、「伐って・使って・植えて・育てて・再び伐る」という資源循環サイクルの確立を目標に、これまで「媛すぎ・媛ひのき」を中心とした国内外への販路拡大のほか、CLT 製造工場や木質バイオマス発電所の整備支援など、木材の安定供給と県産材の需要拡大に取り組んでいます。平成 30 年の西日本豪雨災害で林道等が被災した中であっても、指標である「森林整備面積」や「素材生産量」は、目標の約 8 割（令和元年）を確保するとともに、林業・木材産業産出額は 400 億円を上回っています。



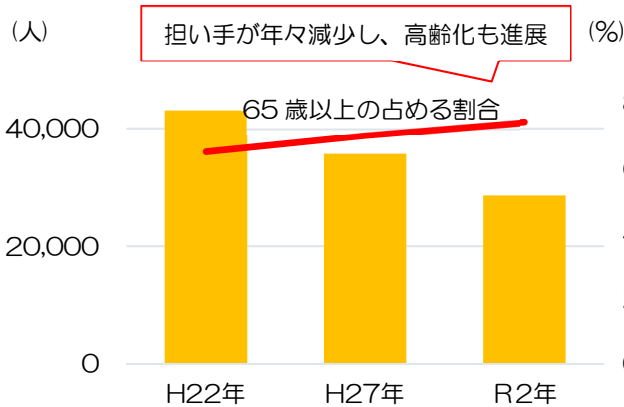
水産業については、「愛顔あふれる愛媛の水産業を実現」を基本理念に、儲かる漁業の確立に向けて、養殖魚種の多様化の促進や国内外での販路開拓等に取り組みました。指標については、平成 27 年の「漁業産出額 839 億円」から順調に増加し、平成 28 年と平成 30 年は、目標値の『漁業産出額 900 億円』を上回っています。



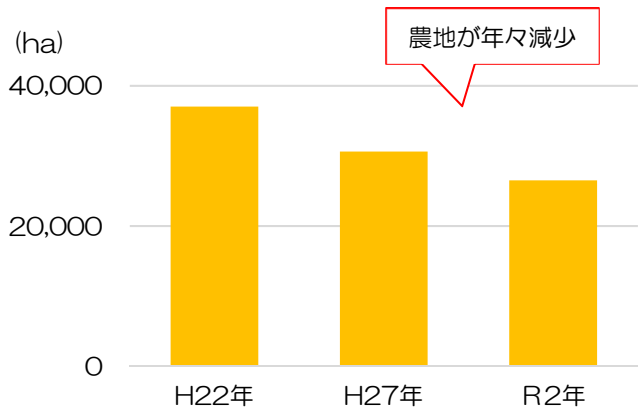
本県で活躍する生産者を紹介する『えひめ愛顔の農林水産人データベースの登録人数』は、197人（令和元年）と目標である150人を大幅に上回っています。また、『農林水産業を職業として選択する高校生の割合等』は、概ね現状維持となっています。

本県の農林水産業は、少子高齢化、人口減少が進む中で、農林水産業の担い手が不足し、農地や森林、漁場の適切な管理も難しくなるなど、生産現場は依然として厳しい状況に直面しており、このままでは、経営資源や技術の継承が困難になり、生産基盤が損なわれ、地域の維持が困難になることも懸念されます。さらに、全国各地で頻発している大規模な自然災害、TPP11 や日欧 EPA、日米貿易協定など国際化の進展による輸入農林水産物の増加、新型コロナウイルスの影響による経済環境の悪化などへの不安も増しています。

基幹的農業従事者数の推移



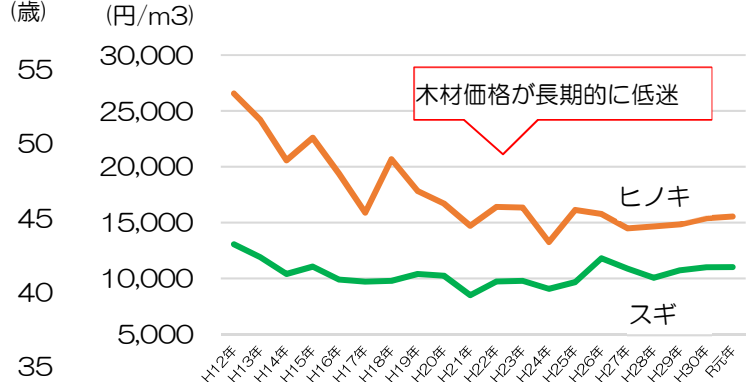
経営耕地面積の推移



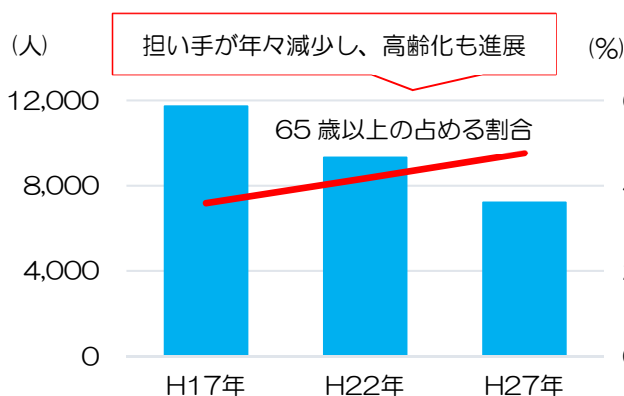
林業労働力の推移



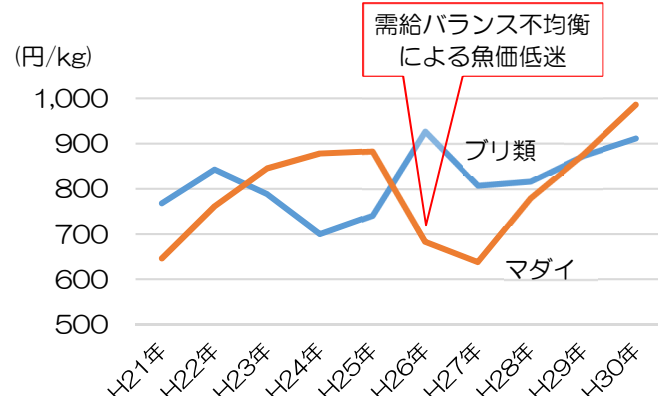
木材価格の推移



漁業就業人口の推移



主要養殖魚価格の推移



農林水産業を取り巻く諸課題に対応し、一体的に振興していくためには、農業・林業・水産業に係る施策を一体的に推進することが効果的です。このため、県では、これまで個別に策定していた農業・林業・水産業の振興プランを統合し、「えひめ農林水産業振興プラン 2021」を策定することとしました。

本プランにより、令和3年度から7年度までを計画期間として、農林水産業を担う「人づくり」、農林水産業で輝く「モノづくり」、農林水産業を支える「地域づくり」の三つを柱に、多様な担い手の確保・育成、中小・家族経営などをはじめ多様な経営体の経営安定・発展、他産地との競争に打ち勝つ強靱な産地生産体制の構築、魅力あふれる県産農林水産物のブランド化・販路拡大など「儲かる農林水産業」を展開します。同時に、農山漁村の定住環境整備や鳥獣被害対策など、農山漁村の活性化にも取り組みます。また、地産地消や食育、グリーン・ツーリズム、職業体験などを通じ、持続的な開発目標（SDGs）への貢献も含め、農林水産業の有する多面的な価値を、次代を担う子どもたちをはじめ、広く県民の皆様にお伝えしてまいります。

本プランでは、「農業産出額 1,200 億円」の維持、「林業・木材産業産出額 430 億円」、「漁業産出額 900 億円」の達成を主要指標とし、県や市町、関係団体等が一体となって、オール愛媛で、愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展と次世代への継承を目指します。

なお、本プランは、「第六次愛媛県長期計画（愛媛の未来づくりプラン）」を上位計画として、前期基本方針・プランを発展的に継承し、これから取り組んでいく施策の方向性を示すとともに、愛媛県木材の供給及び利用の促進に関する条例第 12 条に基づく「木材の供給及び利用の促進に関する基本的な計画」として策定するものです。



3 農業・林業・水産業の共通の取組

(1) 西日本豪雨災害からの創造的復興

- 平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨災害により、本県農林水産業は総額約 655 億円に及ぶ大きな被害を受けました。発災から 2 年半が経過し、現在では多くの農地での営農や漁業が再開されているほか、被害林地の治山工事が実施されるなど、復旧・復興が着実に進んでいます。

被災直後



復旧中

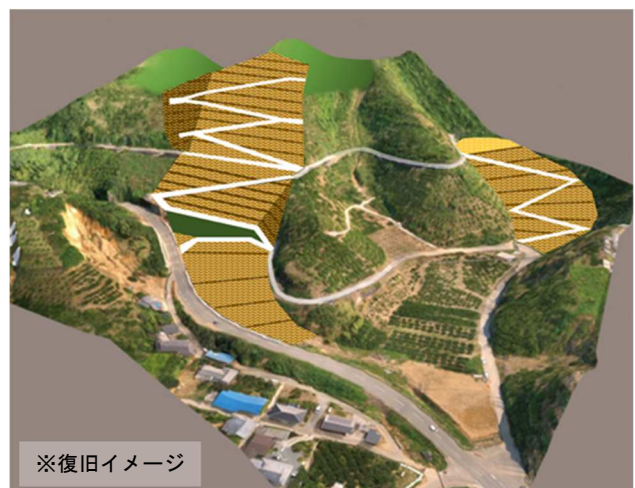


- また、園地の崩落被害が生じたかんきつ園地などでは、広い急傾斜園地の緩傾斜化や作業道の整備を行い、より生産性が高く災害に強い園地に再生する再編復旧にも取り組んでいます。園地の復旧から成園化までには長い時間を要するため、産地の復興に向けて引き続き取り組んでいくこととしています。

被災直後



再編復旧後



- さらに、この経験を教訓として、被災を免れた農地においても再編整備など生産基盤の強化に取り組むとともに、リスクに備え、被災による損失等を補償する農業保険の普及啓発、集出荷場等も含めた事業継続計画の普及などにも取り組んでいくこととしています。

(2) 新型コロナウイルスの影響と対応

- 令和2年の冬から世界中に広がった新型コロナウイルスにより、本県でも多くのイベントが中止になったほか、外出自粛に伴い外食機会が大幅に減少するなど、生活や経済活動に大きな影響が生じました。本県の農林水産物についても、販売機会を失ったために、大幅な需要の減少や価格の下落が生じている品目もあります。
- 県では、影響が生じている品目を中心に、生産者が経営を継続できるよう、需要の回復と拡大に取り組むとともに、地産地消への意識の高まりやECサイトでの購入の増加など、新しい生活様式に伴う消費動向の変化を捉えた販売方法の定着を図ることをとしています。



学校給食への県産牛肉（焼肉）の提供



学校給食への県産水産物（スマ和風グリル）の提供



My スタンドブリーゼによる職場コースの創出



首都圏などへの県産材販売



接触確認アプリの活用や飛沫防止策を講じてのイベント開催



感染防止を目的とした接客時におけるビニール手袋の着用

(3) 魅力あるブランド産品

- 本県では、「愛媛産には、愛がある。」を統一キャッチフレーズに、安全・安心で品質の優れた農林水産物や加工食品を「愛」あるブランド産品として認定しています。現在、46品目 85産品を認定しており、これら先頭に、食材の宝庫としての地域ブランドの確立と県産品全体のイメージの向上を目指しています。



伊予の媛貴海



愛媛 Queen(クィーン)スプラッシュ



愛媛あかね和牛

- また、愛媛ブランド材を「媛すぎ・媛ひのき」と命名し、ヒノキの生産量が全国でもトップクラスであることや、本県の製材品のセールスポイントをPRし、知名度向上と販路拡大を図っています。



「媛ひのき」



「媛すぎ・媛ひのき」サンプル展示

- さらに、次代を担う魅力ある新品種の開発にも取り組んでいます。



米の新品種「ひめの凩」



かんきつ新品種「紅プリンセス」

(4) 県産農林水産物の輸出拡大

- 経済発展による所得の向上や和食への人気の高まりなどを背景に、安全・安心で高品質な日本の農林水産物は、海外で高い評価を受けています。また、平成30年以降、TPP11、日欧EPA、日米貿易協定等の国際貿易協定が相次いで発効するなど、輸出のチャンスは大きく広がっています。
- 県では、国ごとの需要の動向を捉えるとともに、農薬や放射性物質に係る規制など輸出障壁の解消についても積極的に働きかけ、ターゲットを絞って輸出の拡大に戦略的に取り組んでいます。



知事によるトップセールス
(カンボジア)



海外フェア・イベントへの出店
(香港)



温室みかんの輸出
(台湾)



県産材住宅の建築
(韓国)



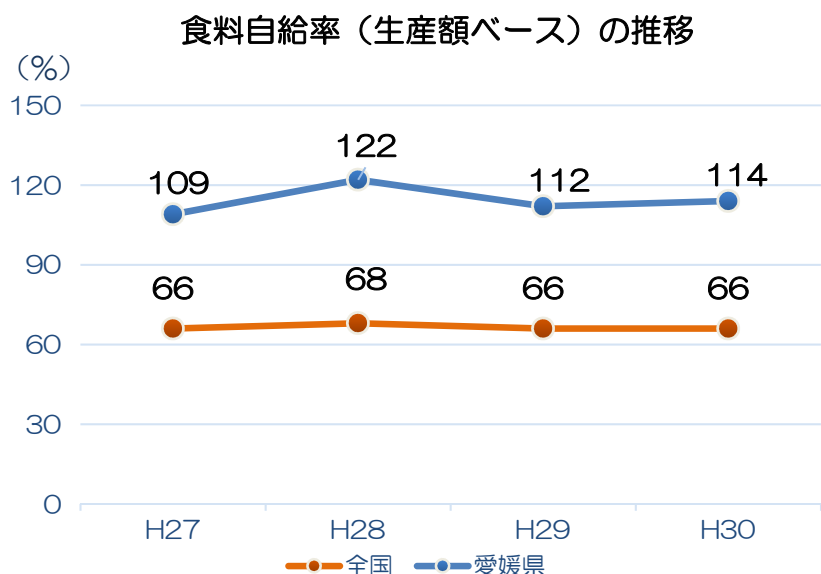
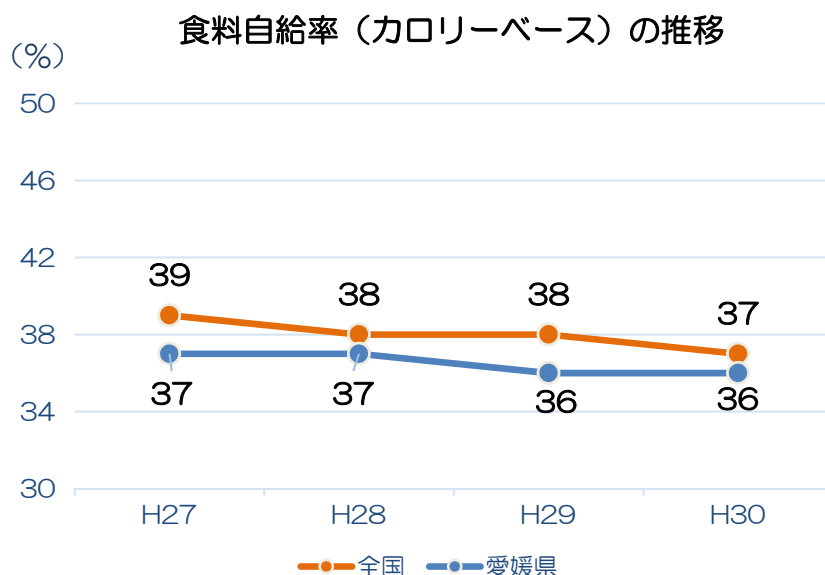
盆栽の輸出
(EU)



トロント和食まつりでの県産養殖マグロ解体
(カナダ)

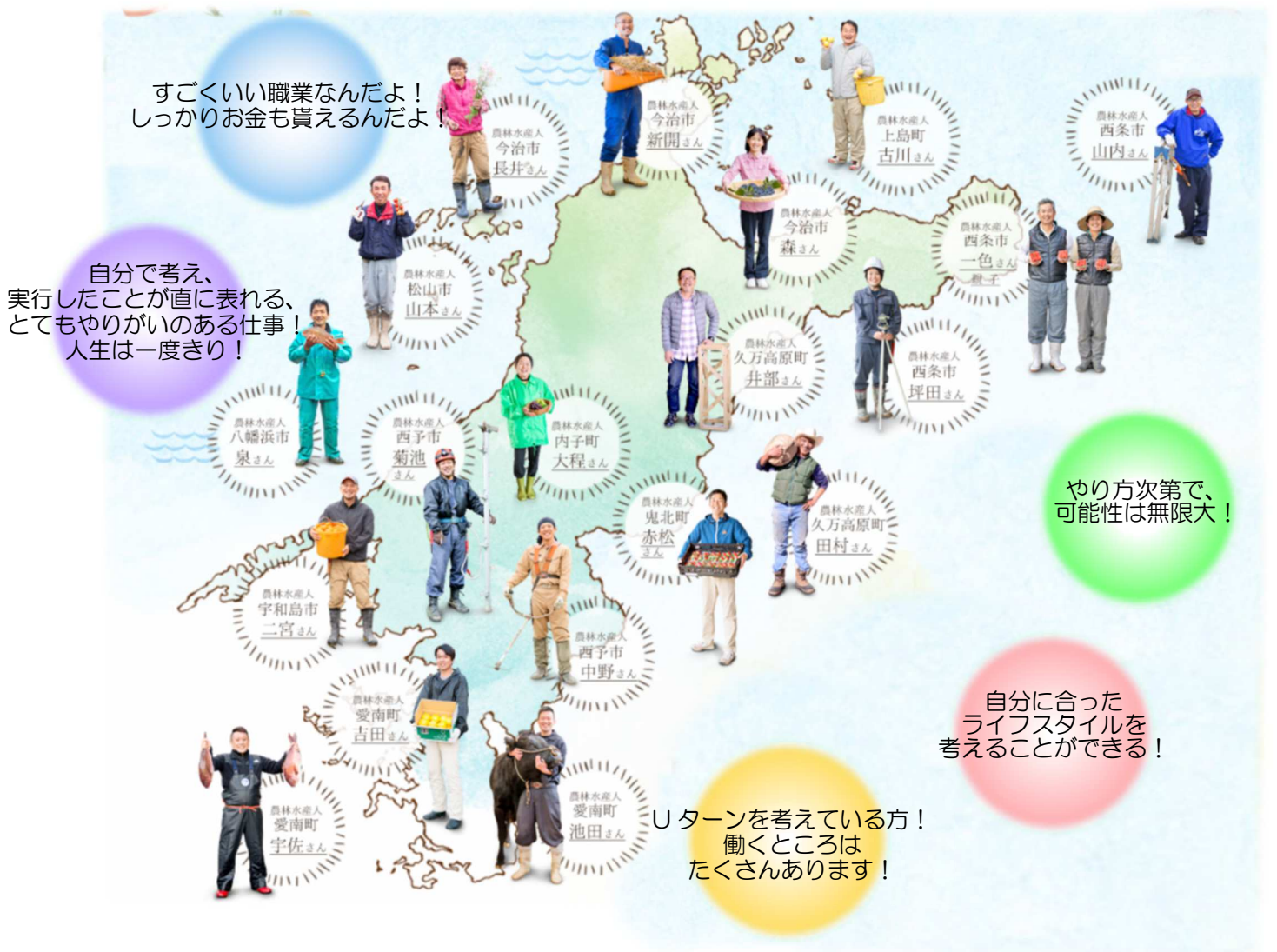
(5) 食料自給率の維持・向上

- 本県の平成30年の食料自給率は、カロリーベースで36%となっています。これは、コメなどカロリーの高い品目の生産に適した平坦農地が少ないという地理的条件から、カロリーの低い柑橘や輸入飼料に頼る畜産など、食料自給率への寄与度が低い品目の生産が多いことによるものです。
- 一方で、柑橘や畜産などは付加価値が高いことから、生産額ベースでは114%と、平均を大きく上回る高い数値になっています。
- 今後も、本県農業の特徴を活かした付加価値の高い農業を展開するとともに、食育や地産地消、国内販路の開拓などにも取り組むことにより、県産農林水産物の生産や消費の拡大を図り、食料自給率の維持・向上につなげていきます。



(6) 「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介

- 県では、「えひめ愛顔の農林水産人」データベースを作成し、農林水産業の元気な姿や、地域で頑張っている生産者の情報を、「愛媛で就業！農林水産まるかじり就業支援サイト」で発信しています。
- 現在、登録数は218人に上っており、儲かる農林水産業を実践している方や、異業種から参入した方、UJIターンした方など、意欲や夢を持って元気に頑張っている生産者を、幅広く紹介していますので、次代を担う子どもたちをはじめ、県民の皆さんに是非とも御覧いただきたいと考えています。



- 「愛媛で就業！農林水産まるかじり就業支援サイト」では、他にも、「就業支援制度」や「経営シミュレーション」など、愛媛県で就業する際に気になる情報も掲載しています。

■ <https://ehime-marukajiri.jp/>

第2章 農業編

1 農業編の概要図

基本方向

農業を担う「人づくり」、農業で輝く「モノづくり」、農業を支える「地域づくり」を柱に、「儲かる農業の展開」と「農村の活性化」を両輪とし、オール愛媛で、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指します

農業を担う「人づくり」

～えひめ農業を支える担い手を確保・育成します～

農業内外からの新規就農・定着の促進、女性農業者の確保・育成、担い手への経営継承支援、農業教育の充実、農業保険の普及啓発、外国人材やみかんアルバイト等多様な人材の活躍促進 など

農業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～

生産基盤整備の推進、農地中間管理機構による農地利用集積の推進、農産物の生産力強化、先端技術の活用、普及指導活動の推進、ブランド力向上、輸出力強化、6次産業化の促進、環境にやさしい農業の拡大、動植物防疫措置の強化 など

農業を支える「地域づくり」

～地域でつながるえひめ農業を目指します～

地産地消・食育の推進、多様な交流の促進、地域の共同活動の促進、荒廃農地対策、防災・減災対策、中山間地域の定住環境の整備、鳥獣被害対策の強化、関係団体との連携強化 など

各地域ブロックの取組

～12の地域ブロックで、それぞれの実情に応じた取組を推進します～

【四国中央（四国中央市）】

【西条（新居浜市・西条市）】

【越智今治（今治市・上島町）】

【温泉（松山市・東温市）】

【伊予（伊予市・松前町・砥部町）】

【久万高原（久万高原町）】

【大洲喜多（大洲市・内子町）】

【八西（八幡浜市・伊方町）】

【西予（西予市）】

【宇和島（宇和島市）】

【鬼北（鬼北町・松野町）】

【愛南（愛南町）】

【計画期間】 令和3年度～令和7年度

【主要指標】 農業産出額：1,200億円（現状維持）※新規就農者数・各品目生産目標等は関連計画に委ねる

【関連計画】 農業経営基盤強化促進に関する基本方針・果樹振興計画 など

2 取り組んでいく施策

(1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

多様な担い手の確保・定着を促進します

農業内外から意欲ある人材を積極的に取り込み、規模の大小や就農形態に関わらず、地域農業の中核を担う人材の確保・定着を図ります。

具体的な推進事項

- 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります
- 地域をリードする女性農業者を確保・育成します
- 次世代の担い手への円滑な経営継承を支援します
- えひめ農業を支える人材を育成する農業教育の充実を図ります
- えひめ農業をわかりやすくデータベース化し、就農・移住につながる情報を発信します

県、市町、JA 等が連携し、就農前の研修や就農後の早期の経営安定を支援するとともに、就農受入体制の整備・充実等により、UJI ターンなどを含む、農業内外からの新規就農と定着を促進します。

また、親子間・親族間はもとより、法人化や第三者への経営継承も含め、農地や施設等の経営資源が次世代のえひめ農業の担い手に確実に利用されるよう、経営形態に応じた計画的な経営継承を推進し、早期の経営安定化を促進します。

さらに、若い世代にえひめ農業の魅力を伝え、将来的に農業を職業として選択する人材を育成するため、農業大学校や農業高校等において、スマート農業技術や6次産業化、ブランディング、経営・販売戦略等、実践的・発展的な教育内容の充実やそのための施設・設備等の整備を推進します。



首都圏での就農相談会



就農研修の実施



農業大学校での実習



～将来のえひめ農業を支える、次世代の担い手を育てています！～

県では、担い手対策に前向きに取り組む JA 等と連携して、研修施設をはじめ、新規就農者の受入体制を整備し、就農準備に必要な研修を支援しとるんよ！

さらに！就農後も、安心して農業を続けられるよう、経営力・生産技術を補うための実践研修や農業用機械・施設の導入まで支援したり、えひめ農業の次世代の担い手のスタートをみんなで応援するけん！



多様な担い手の経営安定・発展を支援します

効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善や経営発展などの取組を促進し、将来、地域農業をリードする認定農業者やそれを支える多様な主体の経営を支援します。

具体的な推進事項

- 農業に力強く取り組む認定農業者を支援します
- 価格安定対策や農業保険の普及啓発などの経営安定対策を推進します
- 農業現場を支える多様な人材や主体の活躍を支援します
- 中小・家族経営など多様な経営体を支援します

将来、地域農業の核となり、えひめ農業を担っていく認定農業者をより一層確保するため、市町の認定に向け、前向きに頑張る農業者を積極的に支援します。

また、認定農業者が主体性と創意工夫を十分に発揮した経営を展開できるよう、規模拡大や販路開拓、経営所得安定対策、融資、税制などを重点的に支援するとともに、災害時のリスク等に備えて農業保険の普及啓発に努め、国内外の情勢変化に柔軟に対応できる、経営感覚の優れた担い手への早期レベルアップを促進します。

さらに、法人化や集落営農組織の設立・連携・合併などを促進するとともに、中小・家族経営をはじめ、経営の安定・発展を目指す多様な経営体を、栽培品目や生産規模などの経営状況や中山間地域等の地理的特性などに応じて幅広く育成・支援します。



認定農業者への支援



経営相談の実施



地域特産品の開発



地域特産品の販売



栽培品目別の指導



～わたしたちが主役です♪キラキラ輝く一次産業女子！！～

農業や林業や水産業に従事する 20～60 代の女性でつくる、「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」生産者同士の意見交換や、経営などのノウハウを学ぶ講座を通して、次世代リーダーの育成や女性の活躍の場を広げようと、2016年6月に発足したんよ！
女性ならではの視点で、愛媛の農林水産業の魅力もPRしながら、メンバーをどんどん拡大中やけん！



多様な人材の活躍を促進します

農業現場における多様な人材の活躍やサービスの活用を促進し、担い手の経営はもとより地域農業の維持・発展も支える、農業経営に必要な労働力の安定確保を実現します。

具体的な推進事項

- 外国人材やみかんアルバイトなど、多様な人材の活躍を支援します
- 多種多様な農業支援サービスの活用を促進します
- 農福連携による取組を支援します
- 農業の「働き方改革」を推進します

農繁期のアルバイトやボランティア等の短期労働力の確保をはじめ、特定技能制度等による外国人材の円滑な受入など、担い手の経営や地域農業の維持・発展に必要な労働力の確保に向けた多様な取組を支援します。

また、労働力不足の解消を目指し、地域における農作業受託組織の育成やドローン等の先端技術を活用した作業代行、機材のシェアリングやリースの推進など、多様な農業支援サービスの定着を促進します。

さらに、障がい者の農業現場での活躍を通じて、農業経営の発展と障がい者の自信・生きがいにつながる農福連携を推進するとともに、農業現場で多様な人材が魅力とやりがいを感じて働くことのできる環境づくりを推進します。



アルバイトへの作業説明



スリランカからの外国人材の受入



農福連携の推進



～やりがいピカイチ！「みかんアルバイト」！！～

毎年、日本一のみかんを届ける！やりがいのある仕事として「みかんアルバイト」を募集しとるんよ！

仕事の内容は、みかんの収穫・選別や積み込み・運搬など。

青く澄み渡る大空の下、収穫を待つオレンジ色のみかんの畑で、ぜひ一度働いてみん？



(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

えひめ農業の生産基盤整備を推進します

規模拡大や所得向上につながる農地・水利施設等の生産基盤の整備を推進することで、農業経営の安定化と、より一層の経営発展を支援し、産地の生産力を強化します。

具体的な推進事項

- 多様な担い手の規模拡大・所得向上につながる生産基盤整備を推進します
- 農業水利施設等の長寿命化と強靱化を推進します
- 人・農地プランを活用し、農地中間管理機構などによる農地の利用集積を推進します

意欲ある担い手の規模拡大・所得向上を後押しするため、市町、JA、農地中間管理機構等と連携し、農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減、高収益作物への転換等を目指した水田の大区画化・汎用化や樹園地の緩傾斜化・高機能化等の基盤整備を推進します。

また、中山間地域等の地域特性を活かした営農の確立や、近年、頻発化・激甚化する豪雨への対応など、地域の実情に応じたきめ細かな基盤整備を推進します。

さらに、ダム等の水源から各農地までの一連の農業水利施設の機能を安定的に発揮させるとともに、次世代へと継承していくために、施設の劣化状況等に応じた計画的かつ効果的な長寿命化対策のほか、施設の強靱化に向けた再編・統合や管理体制の整備を推進します。



水田の大区画・汎用化



高収益作物への転換支援



地域特性に応じた基盤整備



～未来へつなごう！みかん畑～

松山市北条の下難波地区で、みかん山の傾斜を緩くして、農家のみなさんが働きやすい、未来につながるみかん畑をつくりよるんよ。

新しくなったみかん畑では、若い農家の方々が「紅まどんな」など、美味しいみかんづくりにチャレンジするけん！



えひめ農業の生産力を拡大します

本県が誇るブランド農産物や産地の特色を活かした基幹品目等の生産振興に取り組み、急激に変化する国内外の消費動向に対応し、他産地との競争に打ち勝つ強靱な産地生産体制を構築します。

具体的な推進事項

- 「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指します
- 魅力ある畜産ブランドの生産体制の強化に取り組みます
- 水田フル活用の推進により、水田農業の持続的発展を目指します
- 産地や農業者の期待に応える試験研究を推進します
- 主要農作物の種子の安定供給に努めます
- 地域に密着した普及指導活動の推進により、足腰の強いえひめ農業を確立します
- 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に取り組みます
- 新たな花きニーズの創出と収益性の向上に向けた花き産地づくりを支援します

国内の消費者・実需者ニーズや海外への販路拡大を見据え、本県が誇るブランド農産物や産地の特色を活かした基幹品目等の生産振興を核に、産地生産体制の強化を図ります。

また、高品質・安定生産技術や新品種の開発をはじめとした生産性・収益性の向上に資する研究開発の推進、気候変動に対応した技術開発・普及や、AI、IoT など先端 ICT 技術を活用したスマート農業などの導入を促進するとともに、その成果を基盤に出口戦略を見据え、県と市町、JA 等が連携して営農・普及指導活動を展開することで、足腰の強いえひめ農業の確立を目指します。



オリジナル品種の普及拡大



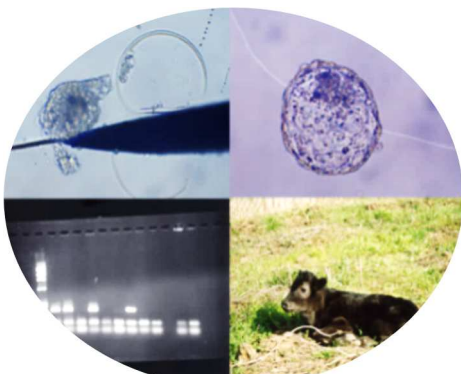
オリジナル品種の産地化支援



先端技術の導入支援



高品質・安定生産技術の普及



バイオテクノロジーを活用した効率的家畜増殖



新たな品種の開発



～みんな大注目！「柑橘王国えひめ」から、「紅プリンセス」が新登場！！～

県みかん研究所が、愛媛を代表する高級柑橘「紅まどんな」と「甘平」を親に、なんと、14年の歳月をかけ選抜した新品種！

「紅まどんな」の“ゼリーのような食感”と、「甘平」の“濃厚な甘み”という素晴らしい特徴を受け継いどるんよ！誰からも愛される「プリンセス」になるようにとの思いを込めて、その名がつけられた、みんな大注目の新品種の味に、今後乞うご期待やけん！！



えひめ農業の販売力を拡大します

ブランド農産物や産地の特色あふれる品目、加工品などの素晴らしい魅力を国内外に広く発信し、本県が誇る優れた愛媛産品の長所を知り、そして選んでもらえる愛媛ファンを増やします。

具体的な推進事項

- 魅力あふれる愛媛の農産物のブランド力向上を図ります
- 輸出力を強化し、愛媛の魅力を世界に広げます
- 6次産業化などの農村発イノベーションを促進します

本県が誇るブランド農産物や産地の特色あふれる市場シェアの高い基幹品目など、えひめ農業が生み出す魅力と強みを最大限に活かし、ブランド価値を創造する取組を促進するとともに、国内の販路拡大を推進します。

また、成長著しいアジアをはじめカナダやEU等への一層の輸出拡大と新たなターゲット国への販路拡大を目指し、トップセールスをはじめとした戦略的な営業活動により、グローバルマーケットへ効果的にアプローチするとともに、相手国の検疫条件や残留農薬基準等への対応など、海外展開に向けた取組を推進します。

さらに、農業者自身のほか、地域や2次産業、3次産業等と連携して取り組む加工・販売等により、地域資源に新たな高付加価値を創出する6次産業化の取組を促進します。



知事によるトップセールス
(東京)



知事によるトップセールス
(カナダ)



台湾フェアへの出店



6次産業化商品の販売促進



商談会を通じたマッチング支援

～美しくつよく 華やかなお米「ひめの凜」が人気沸騰中！～

県農林水産研究所が16年の歳月をかけ、約31,000候補の中から美味しさにこだわって選び抜き育成したオリジナル品種なんよ！

注目すべき特徴は、
 ○大粒で透き通るような美しさ
 ○華やかな香り、しっかりとした噛みごたえ
 ○口の中ですっと広がる上品な甘さ
 ○炊きあがりツヤツヤ、冷めても美味しい
 販売が始まるやいなや大人気のその味を、みんなにぜひ一度、味わってほしいんよ！



えひめ農業の魅力を拡大します

産地の維持・拡大に向けた取組を推進し、意欲ある担い手が魅力とやりがいを持ち、世代を超えて安心して営農を継続できる生産環境の整備を目指します。

具体的な推進事項

- 共同選果・共同販売体制を強化し、産地の維持・拡大を推進します
- 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

産地の維持・拡大に向けて、基幹施設である選果場や集出荷貯蔵施設等の再編整備、流通コストの低減等、共同選果・共同販売体制の強化に向けた取組を促進します。

さらに、担い手の生産拡大や次世代に受け継がれる産地づくりを後押しするため、ロボット、AI、IoT等の先端技術や5Gによる次世代通信インフラを活用したスマート農業の現場実装に向けた取組を推進します。



高性能なかんきつ選果場



AI 選果機の導入実証



ドローン技術の導入試験



アシストスーツの導入試験



～これぞ未来のかんきつ生産のかたち！？スマート農業技術を実証中！～

南予地域は、日本一のかんきつ産地やけど、高齢化や担い手減少等、労働力不足によって、今後の産地の維持が危ぶまれとんよ！

やけん、これからも、日本一のかんきつ産地を維持できるよう、ロボット、IoT、AI等の先端技術を導入して生産から出荷までのスマート営農一貫体系を確立し、互いに団結しながら、若い人たちが喜んで後を継いでくれるような未来型柑橘生産を検討・実証中！



えひめ農業の安全・安心を確保します

農産物の安全・安心を確保し、消費につながる取組を加速させることで、拡大する健康志向や、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する環境にやさしい農業への関心の高まりなど、多様化する消費者ニーズに応えます。

具体的な推進事項

- 農薬、化学肥料等を低減した農業や有機農業など環境にやさしい農業の拡大に努めます
- えひめの農産物をグローバルスタンダードに高めます
- 食の安全・安心に関する取組を充実します
- 動植物防疫措置の強化に取り組みます

エコファーマー認証取得やエコえひめ農産物栽培の導入促進、さらには有機農業へのステップアップを支援するなど、農薬、化学肥料等を低減した環境にやさしい農業を拡大するとともに、その価値を消費者に伝え消費を促進します。

また、GLOBALG.A.P.等の国際水準 GAP の取得を促進し、環境保全や労働安全につながる生産管理や作業効率、経営意識の向上を支援するとともに、安全・安心度を客観的に高めることで本県農産物の競争力を強化します。

さらに、消費者のもとに、安全・安心なえひめ農業の食を届けるため、生産現場における農薬・肥料・飼料、動物用医薬品等の適正使用や動植物防疫強化に向けた取組を促進するとともに、県産農産物の農薬残留分析を実施するなど、科学的根拠に基づいた食の安全性の確保や表示の適正化等を推進し、消費者の信頼確保に努めます。



家畜防疫指導



エコえひめ農産物の販売



グローバルGAP指導



～ひと手間かけたけん！人にも環境にもやさしい「エコえひめ農産物」～

県では、化学合成農薬・化学肥料を県が定めた基準から3割以上削減し、生産情報の公表と適正な管理体制のもとで生産された農産物を「エコえひめ農産物」として認証！

信頼性抜群の県産農産物の生産振興と環境にやさしい農業を進めとんよ！



(3) 地域でつながるえひめ農業を目指します

食と農の大切さを伝えます

食とそれを支えるえひめ農業・農村について、県産農産物の消費拡大や多様で魅力ある農村資源の活用による地域活性化を目指すとともに、県民の理解促進につながる情報を発信し、食と農の大切さを伝えます。

具体的な推進事項

- 地産地消や食育を進め、消費者と食・農とのつながりを深めます
- 地域の魅力を活かした多様な交流を促進します
- 匠の技・郷土料理・文化を次世代に伝承します
- 貴重な遺伝資源の収集・保存・供給・活用に努めます

次代を担う子どもたちをはじめ、県内の幅広い世代の消費者が、えひめ農業自慢の農産物を、より一層身近で親しみのある食材として感じられるよう、学校給食をはじめ、食育や農業体験など、食と農の大切さを学び・触れる機会づくりを促進します。

また、中山間地域や都市近郊の農地も含め、地域が誇る多様な資源を活用したグリーン・ツーリズム体験メニューや農林漁家民宿の充実を図ることで、都市と農村の交流にとどまらず、増大するインバウンド需要も呼び込み、えひめ農業を通じて地域活性化を目指します。

さらに、地域で代々受け継がれている郷土料理やお祭りをはじめとした伝統文化を、えひめ農業の財産として、次世代に着実に継承するための取組を推進します。



地元食材を利用した
「おむすびプロジェクト」



農業の魅力体験



伝統料理の継承支援



～日本農業遺産に認定！「愛媛・南予の柑橘農業システム」を紹介するけん！～

日本有数のリアス海岸が連なる愛媛県の南西部、宇和海に面した地域は、200年もの昔から、先人たちが過酷な環境に立ち向かいながら、様々な創意工夫を重ねて発展してきた柑橘の一大産地なんよ！

美味しい柑橘の源泉であり「耕して天に至る」と絶賛の壮大な景観が広がる段々畑に、ぜひ一度足を運んでみんけん！



地域住民の連携を促進します

緑豊かで魅力ある里地・里山の多面的機能に誰もが気づき、えひめ農業・農村のかけがえない財産として守り続けることができるよう、県民意識の醸成を図るとともに集落活動の支援に取り組みます。

具体的な推進事項

- 住民交流や魅力発信など地域の活性化につながる地域住民主体の取組を促進します
- 地域資源の適切な保安全管理を行う地域の共同活動を促進します

美しい景観により心を豊かにしてくれるだけでなく、多様な生き物を育み、雨水を水田で一時的に留めることで、洪水や土砂崩れを防ぐ防災機能を有するなど、私たちの暮らしを支える農業・農村の多面的機能の大切さや魅力を広く発信するとともに、集落内外の組織や非農家の住民を巻き込んだ、地域連帯感の新たな醸成や地域コミュニティの発展を通じた豊かなふるさとづくりを支援します。

また、この多面的機能が適切かつ十分に発揮されるよう、日本型直接支払制度の積極的な活用を促進し、地域共同による農地や水路などの地域資源の適切な保安全管理活動を支援します。



地域の生き物探し



地域資源（ため池）の保全・管理



地域共同による草刈り



～棚田（たなだ）の良いところ広めるけん！～

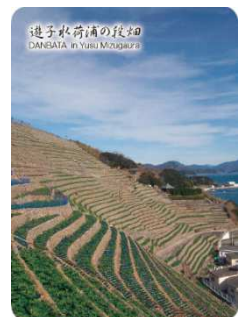
棚田は、食べ物をつくるだけでなく、きれいな景色を作ったり、生き物を守ったり、いろんな役目をもっとるけん、みんなにぜひ伝えたくて「棚田カード」をつくったんよ。

道の駅などでもらえるけん、みんないっぱい集めて、棚田に遊びにきてね！

- ・天川の棚田（西条市）
- ・井内の棚田（東温市）
- ・榎谷棚田（大洲市）
- ・泉谷（内子町）
- ・奥内の棚田（松野町）
- ・遊子水荷浦の段畑（宇和島市）

■えひめの棚田

<https://www.pref.ehime.jp/h35400/furusato/index.html>



農地の有効利用を進めます

食料の安定供給を支える基盤であり、えひめ農業・農村の多面的機能の発揮に欠かすことのできない大切な農地の荒廃を防ぎ、有効利用につながる取組を支援します。

具体的な推進事項

- 地域の実情に合った荒廃農地対策を実施します
- 農地を省力的に管理する農業を促進します

日本型直接支払制度の積極的な活用により、地域・集落での将来の農地利用等に係る話し合いを促し、地域の実情に応じた農業生産活動継続への取組を支援することで、遊休農地の利用促進や荒廃農地の発生防止・解消に向けた多様な取組を支援します。

また、農業者や農村人口の高齢化・減少が進行するなか、農地を守るため、将来を見据え、農地の集積・集約を進めるとともに、省力化に有効な農業機械の導入や栽培管理方法の普及をはじめ、農地を省力的に管理する農業を促進します。



遊休農地の適切な管理支援



大型機械による荒廃農地の復活支援



省力化に有効な機械の導入



省力的な栽培管理方法の普及

快適で安全・安心な農村の暮らしを実現します

自然災害による被害を未然に防ぐ取組を推進するとともに、地域の特色を活かした営農と所得の確保につながる取組を支援し、農村地域における安定的な農業経営や、快適で安全・安心な暮らしを実現します。

具体的な推進事項

- 農村の防災・減災対策を推進します
- 中山間地域の定住環境の向上に向けた条件整備を推進します
- 地域の暮らしと農業を守るため鳥獣被害対策を強化します
- 地域の資源を活かした再生可能エネルギーの活用を促進します

近年、頻発化・激甚化する豪雨や近い将来発生が懸念される南海トラフ地震等による大規模災害に備えるため、ため池の改修や耐震化等のハード対策とハザードマップ作成等のソフト対策を適切に組み合わせ、計画的かつ総合的な防災・減災対策を県や市町、住民等あらゆる関係者が協力して推進します。

また、中山間地域での農業生産活動の継続と定住を促進するため、集落機能の維持・強化や生活環境の向上につながる条件整備を推進します。

さらに、地域の暮らしと農業生産活動を守るため、野生鳥獣の侵入防止柵の設置や、ICT等による効率的な捕獲技術の活用、捕獲やジビエ活用に携わる幅広い人材や関係機関等の一層の参画を促進するなど、地域ぐるみによる鳥獣被害対策を強化します。



ため池の改修



ハザードマップの作成



地すべりの防止



取水施設の強靱化



野生鳥獣の侵入防止柵の設置



イノシシ等を捕獲する大型檻



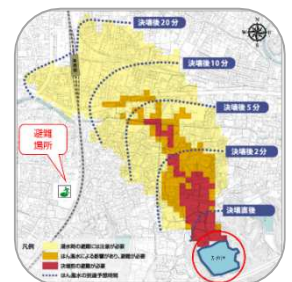
～危ないときは早く逃げるんよ～

日本全国、いろんなところで、毎年災害がおこってるけん、ため池が壊れた時に水につかるところを「ハザードマップ」でお知らせしよるけん。

万が一の時に、あわてず、安全に逃げられるよう、みんなの住んでいる場所の「ハザードマップ」を確認しとってね！

■ えひめのため池のページ

https://www.pref.ehime.jp/h35400/nouchibousai/ehime_tameike.html



関係機関・団体との連携を促進します

農業の枠にとらわれない「オール愛媛」体制による多様な取組を促進し、えひめ農業・農村の持続的な維持・発展につながる新たな可能性の創出を目指します。

具体的な推進事項

○ 食料・農業・農村に関する団体との連携を強化します

高齢化・人口減少が進む農村において、農業の担い手の不足や、これに伴う農地面積の減少など、厳しい農業情勢に打ち勝つため、JAグループや農業委員会、農業共済組合、土地改良区等との連携をこれまで以上に強化し、一体となって取り組みます。

また、農業分野のみならず、産（産業）・学（大学等研究機関）・官（地方公共団体）・民（NPO/地域住民）・金（金融機関）・言（報道機関）と連携した取組を積極的に行い、「オール愛媛」体制でえひめ農業・農村を盛り上げます。



えひめ愛フード推進機構がPRする
県産品を活用した「道後ロール」



えひめ愛フード推進機構が実施する
オンライン産地交流ツアー



大学等研究機関との交流会

～みんなで応援するけん！えひめ農林水産業の強い味方！“えひめ愛フード推進機構”～

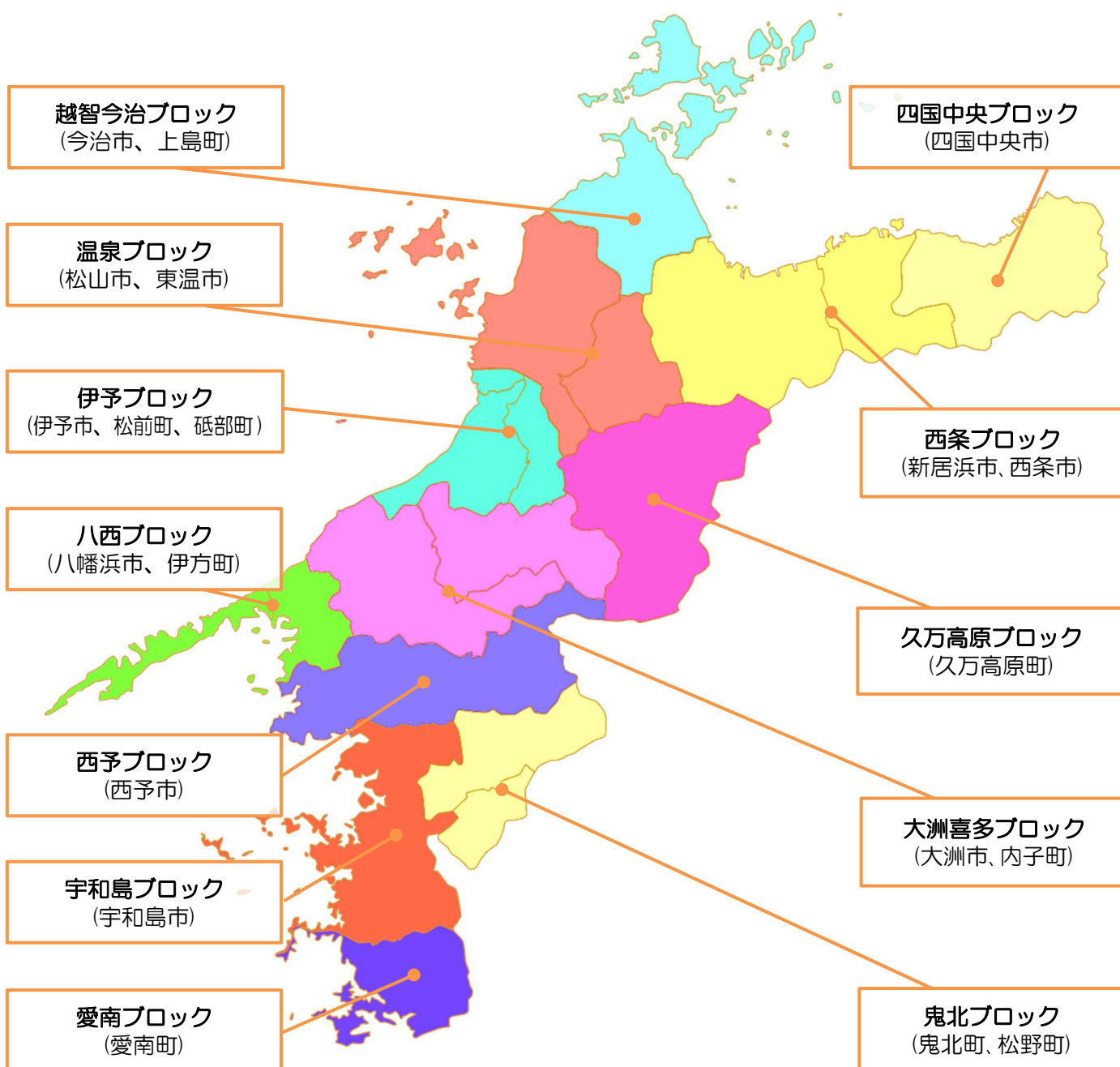
推進機構は、県と食にまつわる幅広い団体が、まさに！「オール愛媛」体制で、えひめ農林水産業を応援する、とっても強い味方なんよ！！

○えひめのブランド農林水産物及び加工品の認定
○新たな商品開発・販路開拓の支援
○地産地消の推進
○食育の推進によるえひめの食文化の伝承・発展に取り組むため、みんな楽しくて美味しいイベントもたくさん考え中やけん、楽しみにしてってね♪



3 各地域ブロックの取組

- 地域ブロック版では、県内全域を 12 のブロックに区分し、地域の実情に応じた農業振興及び農村活性化に向けた今後 5 年間の主な取組（目指すべき方向性）をお示しします。
- 新たな産地づくりや既存産地の再編強化を強力に推進するため、今後、地域の核となり地域を支える品目について、出口となる流通・販売を的確に見据え取り組む活動を「**産地づくり**」、また、担い手対策、生産基盤対策、鳥獣被害対策など地域農業を活性化させるために重要となる取組について、各地域の産地づくりのベースとなる活動を「**地域づくり**」として整理しました。
- ここでは、ダイジェスト版として、各ブロックの「**産地づくり**」「**地域づくり**」の概要をご紹介します。



① 四国中央ブロック

産地づくり

「さといも」「やまのいも」「茶」の産地が形成されています。しかし、高齢化や担い手不足により産地の維持・拡大が難しくなっているため、省力化を図り、高品質安定生産と出口を見据えた産地づくりを目指します。

地域づくり

地域農業を維持・発展させるため、四国中央市農業振興センター（四国中央市、JA うま、四国中央農業指導班等で構成）では、青年農業者をはじめ、認定農業者や女性、農業参入企業等多様な担い手を確保します。また、就農後も支援を継続することで、地域を支える農業者を育成し、鳥獣被害対策の強化や地産地消の推進等による地域づくりを進めます。



四国中央市
マスコットキャラクター
「しこちゅ〜」

四国中央市利用許諾第2-17号

さといも「伊予美人」

県育成品種「愛媛農試 V2 号（伊予美人）」は、多収で大きく、色白で、しっとりとした食感と優しい甘さが特徴。

9 月の中旬から収穫が始まり、和食・洋食にはかかせない食材として人気者です。



やまのいも「やまじ丸」

四国中央市産の県育成品種「やまじ王」を「愛」あるブランド産品「やまじ丸」という名称で売出中。外見からは想像のつかない白い肌と粘り強さが特徴。11 月中旬から収穫が開始。



② 西条ブロック

産地づくり

農地・水の保全と水田農業の推進に努めるとともに、消費者に求められる野菜・花きの生産振興及び落葉果樹を核とした果樹産地の復活を目指します。また、流通・販売を見据えて、安全・安心な農産物が安定供給できる農業を推進します。

地域づくり

重点課題として、①地域農業を支える担い手の確保・育成、②地域を元気にし、農業を支える仕組みづくり、③地域資源を活用した農業再生、の 3 項目を推進します。そのために、農福連携、鳥獣被害対策、6 次産業化、荒廃農地対策等を総合的に組み合わせた地域づくりにも取り組みます。

「アスパラガス」

周桑地区で土づくりにこだわって栽培されており、「緑のささやき（特選）」という商標で「愛」あるブランド産品にも認定されています。新規の生産者が増えているよ。

甘くて美味しい自慢のブランド産品



かき「太天」

周桑地区で産地化に取り組んでおり、1 個が 600g 以上にもなる日本最大級の渋柿。JA で渋抜きをしてから出荷されます。「福嘉来（ふくがき）」という商標でブランド化を図っているよ。

③ 越智今治ブロック

産地づくり

西日本豪雨災害からの復興とさらなる発展のため、かんきつ類などの果樹のブランド産地を目指し、県オリジナル品種や既存の主力品種を最大限に活かせる栽培技術の確立を強力に推進するとともに、生産技術の高位平準化にも取り組みます。また、県オリジナル品種等の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されている「オリーブ」や「醸造用ぶどう」など、生産者の所得確保・向上につながる品種・品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者や農業参入企業等に対し、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、グリーン・ツーリズムによる起業活動等を支援するとともに、女性の農業経営への参画を促進し、女性農業指導士とともに優れた女性経営者を育成します。さらに、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策など、地域を取り巻く課題に対応した支援を強力に展開します。

～地域農業を支える産地消活動～

エコ栽培の積極的な推進や学校給食への地元農産物供給をはじめ県下を代表する産地消の取組を実施しています。新たな産地消の展開により、新型コロナウイルスにも負けない地域農業をつくっていきよるんよ。

また、産直市を核に、一般消費者用の「小麦」の需要開拓にも取り組み、「小麦」の栽培面積の維持・拡大に努めよるけん。



④ 温泉ブロック

産地づくり

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たに産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組みます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

～温泉ブロックの「かんきつ」～

ゼリーのようなとろける食感が特徴の「愛媛果試第28号(紅まどんな)」と、シャキシャキした食感に濃厚な甘みが持ち味の「甘平」は本県が育成したオリジナルかんきつ。温泉地区が県内最大の産地で、市場や消費者からも高い評価を得ており、贈答品としても大人気。この二つの品種を両親として生まれた、かんきつ界のホープ「愛媛果試第48号(紅プリンセス)」も、数年後には皆さんの食卓にデビューの予定です。



愛媛果試第28号(紅まどんな) 甘平

ほくたちの
おすすめです!



松山市 しまぼろ 「鳥に来てね」
東温市 いのどん 「野菜もどうぞ」

⑤ 伊予ブロック

産地づくり

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。



～伊予市が誇る秋の味覚「中山栗」～

伊予市中山町は水はけがよく、昼夜の温暖差があり、栗栽培には適した地域です。

そこで丹精込めて栽培される中山栗は、大粒で濃厚な甘みがあり、県の「愛あるブランド産品」や「ますます、いよし。ブランド」にも認定されています。



⑥ 久万高原ブロック

産地づくり

生産者の高齢化が著しく進行するなか、夏季冷涼な気候を活かした夏秋野菜における新たな栽培者の確保・育成や生産技術の向上による産地振興を図ります。

また、単収の低い農家の要因分析とその課題解決に向けた対策の推進や技術指導強化等を行うことで、安定した生産量を確保するとともに、生産者の高齢化に対応できる省力化技術の導入や、労働力の確保対策を講じながら、産地の規模拡大を図ります。

地域づくり

就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。若い新規就農者には、青年農業者組織での活動を通して地域内外での仲間づくりを支援するとともに、スムーズな地域への就農と定着に努めます。

また、規模拡大を目指す農家等に対し、スマート農業等省力栽培技術の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化等を通じて農地の集積を図り、地域の担い手として育成します。

中山間地域の夏季冷涼な気象条件を活かした夏秋期の出荷品目の拡大や土地利用型作物（加工用野菜、雑穀、さといも等）の推進による農業所得の向上と地域の活性化を図ります。

営農に関する情報共有システムを構築し、映像によるリアルタイムな情報交換と現場の課題解決を図るため、高速情報通信網の活用を含めたスマート農業の導入を推進します。

～久万高原町の夏秋ピーマン～

久万高原町の「夏秋ピーマン」は、昼夜の温度差を活かした肉厚で果色の緑が濃いのが特徴です。また、ピーマン栽培農家は、エコファーマーの認定を受け、化学肥料や農薬の低減技術を導入・実践しており、環境にやさしく、信頼される産地づくりに取り組んでいます。



⑦ 大洲喜多ブロック

産地づくり

既存の主力品目の野菜等のほか、当地域を代表する落葉果樹（キウイフルーツ、ぶどう、くり、かき等）の生産体制強化に加え、新たなマーケットの開拓など出口戦略を見据えた取組を進め、産地ブランド力の向上に努めます。また、適地適作を基本とし、省力化や集約化を積極的に推進し、収益性の高い品目導入や栽培技術の高位平準化を図り産地基盤を強化します。

地域づくり

高齢化が進む中、多様な担い手を育成・確保するため、関係機関が連携したサポートチームの活動を拡充し、新規就農研修や受入体制の充実・強化に取り組みます。荒廃農地の解消のため、農地中間管理機構との連携により、担い手農家や農業法人への農地集積・集約化に向けたマッチング活動を強化します。

さらに、儲かる農業の実現に向け、中山間地域での基盤整備による農地の集約化で生産性を向上させ、省力化や高収益化を図るとともに、地域単位での営農承継を目的とした集落営農法人の設立支援を通じて地域農業の維持・発展を目指します。



～農と自然や歴史・文化が融合するグリーン・ツーリズム～

歴史が古く文化遺産も数多く残る当地区では、地域資源を活かした体験型農家民宿、「ぶどう」や「なし」観光農園など、グリーン・ツーリズムのメニューがたくさん。内子町御祓（みそぎ）地区にはその名のとおり疲れた魂を癒してくれるスポットが多く、紅葉滝もそのひとつ。街並み散策や美味しいフルーツを堪能した後は、滝に打たれて心と魂を御祓いすれば、身体も気分もきっと軽くなるけ～ん。



⑧ 八西ブロック

産地づくり

「美味しいみかんづくり」と「連年安定生産による生産量確保」を、生き残りをかけた産地の目標として掲げ、消費者はもとより「かんきつ」を取り巻く関係者に信頼されるブランド産地を維持できるよう、「うんしゅうみかん」の売上 100 億円、特産「清見」などの中晩柑類の売上 50 億円の目標を連年で達成していけるよう、組織連携を強化して「柑橘王国えひめ」を支える日本一のブランド産地の維持・発展を目指します。

地域づくり

地域農業者が主体となった就農支援チームを各地区に設立し、移住就農者を確保・育成するとともに、集落営農法人の設立支援や新規就農者、大規模認定農業者、法人経営体の育成を通して、全国有数のかんきつ産地を次世代に継承します。

また、集落機能を維持するために、地域資源の保全活動はもとより、担い手の負担軽減を図るための安定した労働力の確保に向け、働きやすい農村環境を整備します。



～みかん産地のPR活動～

○2018年11月から「西宇和みかん」の品質を保証する統一ロゴ「Nマーク」の表示で出荷を開始しました。JAから出荷される「うんしゅうみかん」は新デザインの「N箱」に統一され、段ボールや店頭販売の袋、店頭ツールなどで産地をPRしています。

～6次産業化や農商工連携の取組～

○2019年5月には、八幡浜市で日本初となるダルメイン世界マーレードアワード&フェスティバル日本大会が開催され、1,600点を超えるマーレードの出品がありました。この大会の入賞者の中から、法人化へ発展する取組もあり、「かんきつ」を活用した商品開発が進んでいます。

⑨ 西予ブロック

産地づくり

県育成品種等や基盤整備地に導入する戦略品目等を基幹品目として、気象や立地条件など地域の「強み」を活かした生産体制の強化を図るとともに、今後新たな産地化に向けた品目等について、市場情勢の変化への対応やマーケットの開拓など出口戦略を見据えた生産振興と、それを維持するための労働力確保等中長期的な産地づくりに取り組みます。

また、県内最大の畜産産地として、公共牧場を活用した優良後継牛の増頭や自給飼料の増産に向けた生産体制の整備・拡充を積極的に推進するとともに、ブランド畜産物の生産拡大や補助事業の活用による施設・機械整備等を通じて、産地の維持・発展に取り組みます。

地域づくり

担い手不足と荒廃農地の増加を解消するため、生産基盤の整備を進めると同時に、担い手への農地集積と生産性の向上を図り、地域が一体となって農地を継承していくシステムを構築するとともに、生産基盤のない新規就農者をサポートするなど、農家子弟を含めた幅広い担い手の育成に取り組みます。



～ジオの恵みを活かした6次産業化の取組！～

「大豆」「かんきつ」「ゆず」「くり」「いちご」「トマト」といった農産物に付加価値をつけたオリジナリティあふれる6次産業化産品が誕生しています。

また、地元のトマト農家のお母さんたちが運営する農家レストラン「食堂ゆすかわ」（城川町遊子谷）や、奥伊予工房が運営する団体客向け「ジオ・キッチン」（道の駅どんぶり館）では、旬の地域食材をふんだんに使った食事を提供しています。ぜひ、ご賞味下さい！



⑩ 宇和島ブロック

産地づくり

西日本豪雨災害からの復興と被災前よりパワーアップしたかんきつ産地を目指し、基幹品種（南柑 20 号等）と多彩な品種の組み合わせによる周年供給体制に加え、農地の集積や高品質生産技術の実証・普及、新品種の導入等を進めるとともに、農家の所得向上を目的に、水田を有効利用した「さといも（伊予美人）」の産地化や「ブラッドオレンジ」の国内 No.1 産地の維持・拡大など、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

地域づくり

農家の高齢化が進み、担い手不足が深刻化する中、集落営農組織の設立や意欲のある経営体の規模拡大を図るほか、農業団体による営農活動や進出企業による生産活動、女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど多様な担い手が活躍できる地域づくりを進めます。また、家族経営協定の推進により家族ぐるみで経営に参画し、夢を実現できるようメリハリのある経営や労務管理の取組を推進します。地域の鳥獣被害対策や荒廃農地対策も進め、安心して農業に取り組める地域づくりに努めます。



宇和島市PRキャラクター
伊達にゃんよ

～イタリアが薫る深紅の果実「ブラッドオレンジ」～

- * インパクトのある真っ赤な果実。赤い果肉の秘密は、ワインなどに多く含まれるアントシアニンです。
 - * コクのある甘さ、芳醇な香り、すっきりとした酸味と豊かな風味。ジュースも美味しいよ。
 - * 「タロッコ」と「モロ」の代表的な2品種があります。
- HP: <http://www.blood.orange.jp/>



⑪ 鬼北ブロック

産地づくり

「水稻」は、新品種の導入や主食用米の需要に即した生産に努めるとともに、スマート農業を推進し、生産振興を図ります。果樹では、特産の「ゆず」について地域品種の普及を図り、「くり」「もも」については、(株)源吉兆庵への安定供給を実現します。また野菜においては、「きゅうり」の産地復活を後押しし、需要拡大が見込める軽量野菜生産の振興を図るとともに、農地の整備を進め、新たなビジネスや地域特産品の開発についても取り組みます。

地域づくり

規模拡大に伴う省力化技術の普及を図るとともに、経営多角化や集落営農の組織化により、中山間地における「水稻」を中心とした農業経営の安定と地域農業の維持・発展を目指します。また、農業支援センター等と連携し、認定農業者や女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど、多様な担い手が活躍できる地域づくりを推進します。また、荒廃農地拡大の最大要因となっている鳥獣被害対策に取り組むとともに、獣肉資源(ジビエ)の有効活用に努めます。豊かな自然や食材等の地域資源を活用して都市との交流を促進します。



きほくんときじのすけ(鬼北町)

とげの少ないゆず「鬼北の香里(きほくのかおり)」



本県の「ゆず」は全国第3位の生産量で、うち南予地域が9割を占めています。鬼北町で発見されたとげの少ない「ゆず」が平成25年に種苗登録され、鬼北管内で普及しています。



のぶしくんと
いよびじんちゃん(松野町)

⑫ 愛南ブロック

産地づくり

主力品目「河内晩柑」を中心としたかんきつ産地の維持・発展を目指し、生産基盤や生産体制の強化を図りつつ、多様化する消費者ニーズに対応した加工品の開発や新たなマーケット開拓など出口を見据えた販売戦略を進め、ブランド力向上に取り組めます。また、水田の有効利用と農業所得の向上を目指し、長期安定出荷ができるブロックリー産地づくりや、地域の特色を活かした高収益野菜の振興と定着に取り組めます。

地域づくり

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や新規参入企業等の定着支援に取り組めます。優良な農地を維持・活用するため、中心的経営体や集落営農組織の育成・法人化を進め、地域農業基盤と地域コミュニティの維持を図ります。また、女性の起業活動や農業経営への参画を支援し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムやイベント等に取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。



～「河内晩柑」の果皮に多く含まれる機能性成分「オーラプテン」～

愛媛県と松山大学、愛媛大学、(株)えひめ飲料の研究グループは、連携して「オーラプテン」を豊富に含んだ「河内晩柑」の果汁入り飲料の製造方法の研究を進め、愛媛大学医学部附属病院で高齢者を対象としたヒト介入試験を実施した結果、認知機能の維持、改善に効果があったと報告されとるんよ。

第3章 林業編

1 林業編の概要図

基本方向

地域の森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化を図ることにより、山村地域の活性化に結び付けるとともに、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐と伐採後の再造林などの森林整備を推進します



林業を担う「人づくり」

～えひめの森林・林業を支える担い手を確保・育成します～

高校生・UJIターン希望者・女性などの就業・定着の促進、外国人材の受け入れ、意欲と能力のある林業経営者の育成・支援、林業機械の自動化・作業の省力化を図る林業イノベーションの推進 など



林業で輝く「モノづくり」

～林業・木材産業の持続的かつ健全な発展を目指します～

主伐の推進による県産材の増産、協定取引等に基づく安定供給体制の構築、試験研究の推進、林道・作業道等の開設、高性能林業機械の導入促進、加工・供給体制の整備・充実、建築物等の木造・木質化の推進、「媛すぎ・媛ひのき」の国内外での販売促進、県産 CLT を活用した建築物等の普及 など



林業を支える「地域づくり」

～地域とつながるえひめの森づくりを進めます～

地球温暖化防止対策、災害に強い森づくりの推進、多様で健全な森林への誘導、保安林の適正管理と治山対策の推進、森林病虫獣害防止対策の推進、森林の若返りの推進、森林認証の取得及び活用促進、特用林産物の生産振興、県民や企業等の参加による森づくりの推進、花粉発生源対策の推進、市町との連携、森林環境教育 など

[計画期間] 令和3年度～令和7年度

[主要指標] 林業・木材産業産出額：430億円

※木材生産量、就労者数等は林業躍進プロジェクトに委ねる

[関連計画] 愛媛県労働力確保促進基本計画、林業躍進プロジェクト（第2期） など

2 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

SDGs に貢献するえひめの森林・林業・木材産業

SDGs は、気候変動や自然災害等の課題が各地で深刻になる中で、近年関心が高まっており、17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。森林・林業・木材産業においては、目標 15 の中にターゲットとして「持続可能な森林の経営」が掲げられているなど、複数の目標に関連しており、森林分野においても様々な取組が広がっています。今後、SDGs との関わり方に対する理解がより一層深まり、新たな取組が広がることを期待しています。

～SDGs の目標と森林の循環利用の関係～

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基礎をつくらう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう			

食料の持続可能な生産
健康増進
森林環境教育
林業女子
水源涵養
環境にやさしい建築・発電
雇用創出
スマート林業 建築部材開発
住み続けられるまちづくりを
地方創生 国土保全
つくる責任 つかう責任
合法木材 持続可能な産業
炭素貯蔵
“森は海の恋人”
陸の豊かさを守ろう
“伐って、使って、植える” 生物多様性
パートナーシップで目標を達成しよう
関係機関との連携による森林の持続可能性の確保

～当プランの具体的な推進事項と SDGs との関係性～



3 取り組んでいく施策

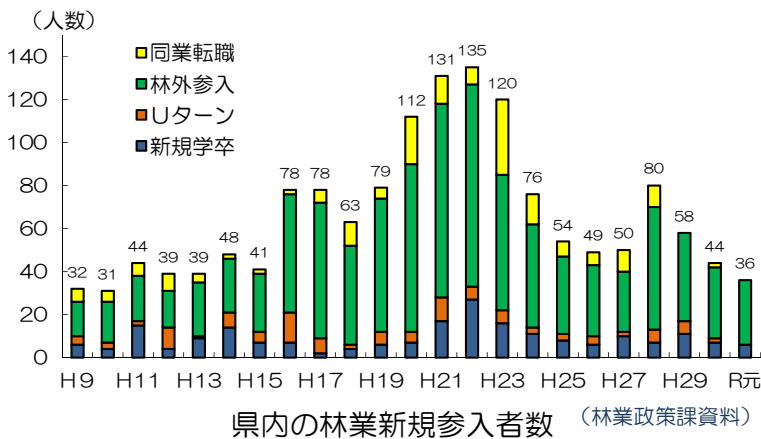
(1) えひめの森林・林業を支える担い手を確保・育成します

担い手を確保・育成します

森林資源の充実により、主伐再造林等の事業量の増大が見込まれる中、林業の成長産業化による山村地域活性化のためには、担い手の確保・育成や安全な労働環境の整備が重要です。県では、市町、関係団体及び教育機関等と連携して、県内外から意欲ある人材を積極的に受け入れ、地域林業の中核を担う人材の確保・育成を進めます。

具体的な推進事項

- 高校生、UJIターン希望者及び女性など多様な人材の林業への就業・定着を促進します
- 林業の次世代を担う人材を育成するため研修等の充実を図ります
- 地元大学と連携して、森林・林業について深い知識と見識を持つ人材を育成します
- 林業活性化に向けた外国人材の受け入れを促進します
- 障がい者が林業分野に参画する林福連携による取組を支援します



人材育成研修



高校生への林業体験学習



就職ガイダンス



林福連携（原木しいたけ）



～若者連携プロジェクト「林ターン」～

林業の担い手育成の第一歩として、内子町で林業版インターンシップ「林ターン」を行っているダーク！

「林業を知る！人を知る！地域を知る！」をテーマに、地域と密着したプログラムを展開し、多角的な視点で林業に触れてもらえる機会を提供しているダーク！



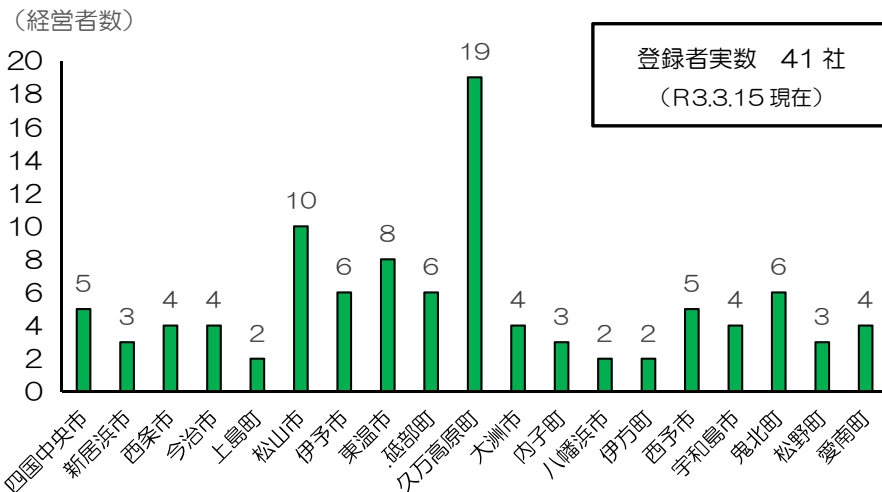
多分野に興味を持つ
愛媛大学社会共創学部が参加

経営基盤を強化します

本県の森林施業は、林家や森林組合及び民間事業者によって行われています。しかしながら、これらの林業事業者は小規模な経営体が多く、効率的な素材生産を行うためには、安定的な事業量の確保が必要です。県では、森林組合等林業事業者の収益性向上と施業集約化の推進、さらには主伐後の再造林など、「長期にわたる持続的な経営」の実現に向けた取組を支援します。また、地域林業をリードする「意欲と能力のある林業経営者」等の経営基盤の強化を図ります。

具体的な推進事項

- 地域林業をリードする「意欲と能力のある林業経営者」等を育成・支援します
- 効率的かつ安定的な林業経営を目指した施業集約化の取組を支援します
- 適正な作業方法の習得など健康で安全な労働環境の整備を推進します
- 自伐林家などの多様な経営体を支援します



市町別「意欲と能力のある林業経営者」数
(※登録市町の重複あり)

(林業政策課資料)



意欲と能力のある林業経営者
上：作業状況 下：研修状況



自伐林家等への説明会



施業集約化に向けた取組



林業研究グループへの活動支援



～カッコよく安全になった服装と防護具～

林業の服装といえば、地下足袋に灰色の作業服ダーク。でもそんな山で働く人たちの服装が生まれ変わっているのを知っているダーク？

海外製品を中心にオシャレで安全性と機能性も兼ね備えた製品が次々と生まれているダーク！

以前



現在



林業イノベーションを推進します

林業現場において、航空レーザ計測により得られた森林情報・地理空間情報やICT等の先端技術を活用し、需要に応じた木材生産を可能とするスマート林業等の「林業イノベーション」を推進します。また、スマート林業の導入による林業収益性の向上や機械化による生産性の向上により、林業を若者や女性にとって魅力ある産業へと変換を図ります。

具体的な推進事項

- 航空レーザ計測等による森林情報の整備と活用を図ります
- ICT等を活用した新たな作業システムの導入を支援します
- 作業の自動化・省力化を図る機械の導入を支援します
- 負担軽減と省力化が図れるエリートツリーやドローンなどの導入を推進します



ドローンを活用した森林情報の整備



施業の自動化・省力化に向けた取組
(上：木材検収システム 下：ドローンによる苗木運搬)



航空レーザ計測による森林情報の高度化



エリートツリー(3年生)

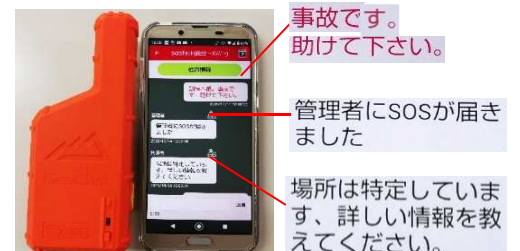


タワーヤード実証



～LPWA※通信網の整備～

久万高原町の森林では、携帯電話が繋がらない場所が多いから、LPWA通信網を町内全域に整備し、労働災害発生時に位置情報を送る連絡体制を構築したダーク！この通信端末とスマートフォンをBluetooth接続することで、市場ニーズに合う造材を現場に指示することも可能になるダーク！（※低電力長距離無線通信）



(2) 林業・木材産業の持続的かつ健全な発展を目指します

県産材の増産と安定供給体制の構築を推進します

持続的な林業・木材産業の構築に向けては、将来にわたる県産材の安定調達が不可欠です。県では、高まる木材需要に対応するため、主伐による木材増産を積極的に進めるとともに、協定取引などに基づく安定供給体制の構築を推進します。また、人工林の高齢化に伴い大径化する原木の利用を進めるため、施業地の傾斜や地理的条件に合った効率的かつ安全な作業システムの構築を図ります。

具体的な推進事項

- 主伐による森林の更新を推進し、県産材の増産を図ります
- 大径材生産に対応した作業システムの構築を図ります
- 協定取引などに基づく安定供給体制を構築します
- 経営管理の集約化と素材生産の効率化・低コスト化を推進します
- 林業者や木材業界の期待に応える試験研究を推進します



主伐による素材生産



主伐後の植栽



大径材の伐採状況



県産材の安定供給



協定取引等の推進



大径材（製材用）



広葉樹林化技術の導入に向けた
試験研究



木造トラスの性能評価試験

基盤整備を推進します

森林施業等の効率的な実施のため、トラック等が走行する基幹林道・林業専用道や林業機械が走行する森林作業道を適切に組み合わせ、開設又は改修を進めるとともに、林業の収益性向上等を図るため、高性能林業機械の導入を支援するなど、地域の実情に応じた基盤整備を推進します。併せて、他産地との競争に打ち勝つ強靱な木材産業の構築を目指すために、品質及び性能の確かな製品を安定供給できるよう、加工・供給体制の整備・充実を図ります。

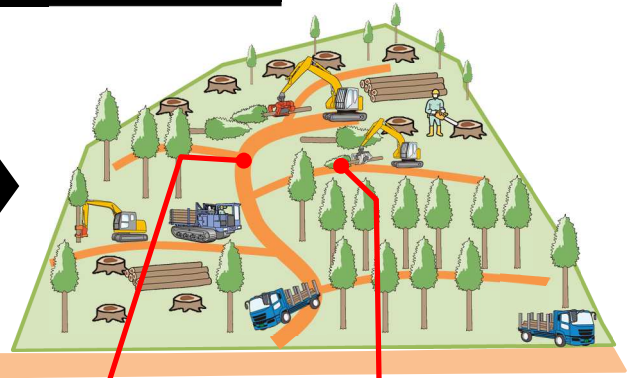
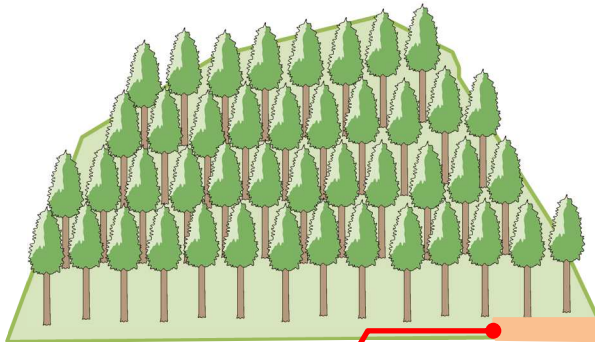
具体的な推進事項

- 林業を支える基幹林道・林業専用道・森林作業道の開設・改修を推進します
- 採算性と安全性の向上に必要な高性能林業機械の導入を推進します
- 競争力のある木材産業を目指すために、加工・供給体制の構築を図ります

基盤整備のイメージ

道が整備されていない森林

道が整備された森林



基幹林道



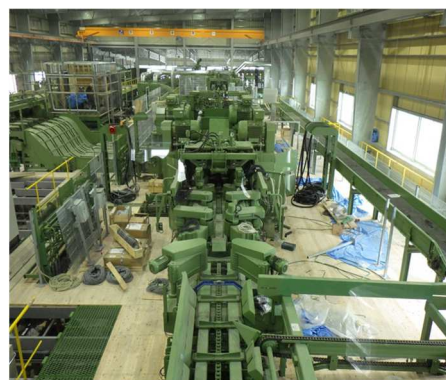
林業専用道



森林作業道



高性能林業機械
(ハーベスタ)



大型製材機械



木材乾燥機

県産材の需要拡大を支援します

林業・木材産業の成長産業化を図るためには、公共施設や非住宅分野における木材利用を促進し、新たな需要を拡大することが重要です。県では、木材関連団体等と連携して、愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」などの国内外への営業活動や県産 CLT*の利用促進を積極的に展開します。また、地域資源を有効に活用して、地域の所得向上を図るため、未利用間伐材等の木質バイオマス資源としての利用を促進します。

具体的な推進事項

- 公共施設や住宅に加え、民間の非住宅建築物等の木造・木質化や木製品の導入を進めます
- 愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」など、国内外での販売を促進します
- 建築分野において、県産 CLT など新たな木質部材の利用を促進します
- 地域の有用な資源である木質バイオマスのエネルギー利用等を促進します



木造公共施設等の推進



トップセールス



県産材住宅の建築
(韓国)



海外での営業活動



愛媛ブランド材ロゴマーク

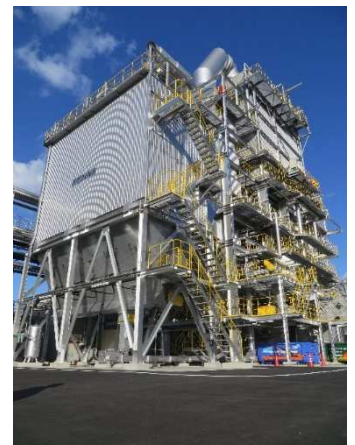


CLT
(直交集成板)

*CLT とは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した木質材料です。構造躯体として建物を支えるとともに、断熱性や遮音性など複合的な効果も期待できるほか、プレハブ化による工期短縮や RC 造などと比べた場合の軽量化も魅力的な材料です。



CLT 建築物



木質バイオマス発電

県産 CLT の製造

(3) 地域とつながるえひめの森づくりを進めます

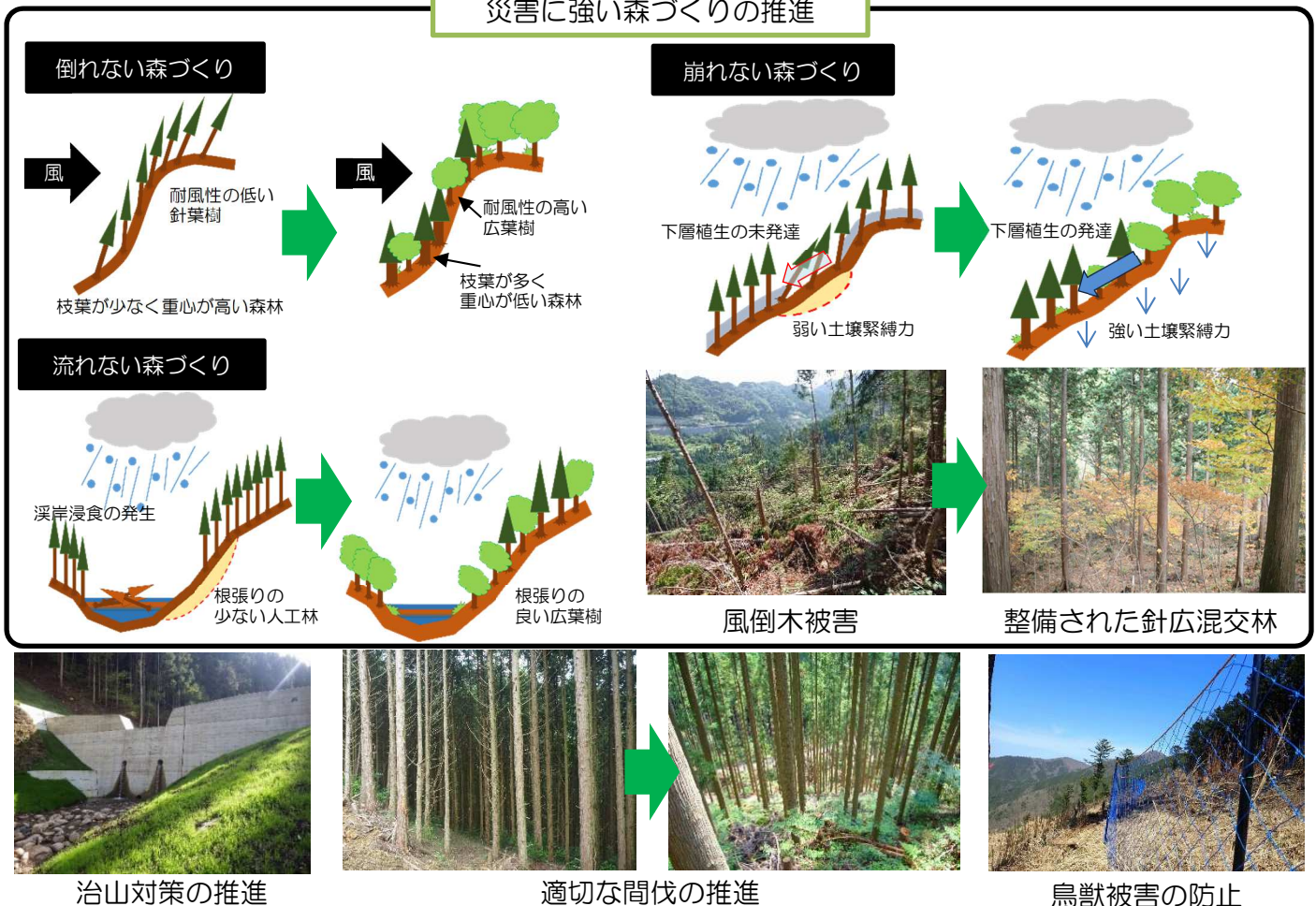
災害に強い森づくりを推進します

平成 30 年の西日本豪雨をはじめ、近年は想定をはるかに超える大規模災害が多発しており、森林の持つ、水源涵養機能、山地災害防止機能を高度に発揮させることは、県民の安全・安心な暮らしを支えるうえで重要な課題となっています。県では、森林の有する山地防災機能など多面的機能が将来にわたって十分に発揮されるよう、森林所有者の理解と協力の下、森林整備事業や治山事業などを効果的に組み合わせながら、災害に強い森づくりを推進します。

具体的な推進事項

- 保安林の適正な管理と県民の生命・財産を守る治山対策を推進します
- 地球温暖化対策として適切な間伐や再造林等の更新を推進します
- 森林病虫獣被害防止対策を推進します
- 広葉樹林への転換など、多様で健全な森林へ誘導します

災害に強い森づくりの推進



～西日本豪雨からの着実な復旧・復興～

平成 30 年 7 月、南予地方を中心に今までに経験したことのない被害が発生し、林地においても、平成以降最大級の被害を受けたダーク。今では、迅速な治山事業の取組みのおかげで、復旧・復興が着実に進みつつあるダーク。

【撮影箇所：西予市宇和町間間（上成地区）】

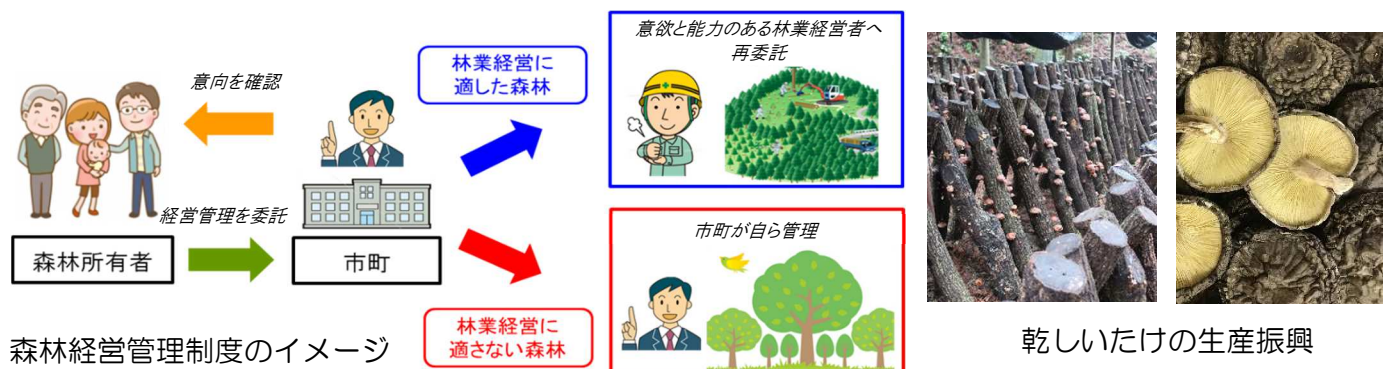
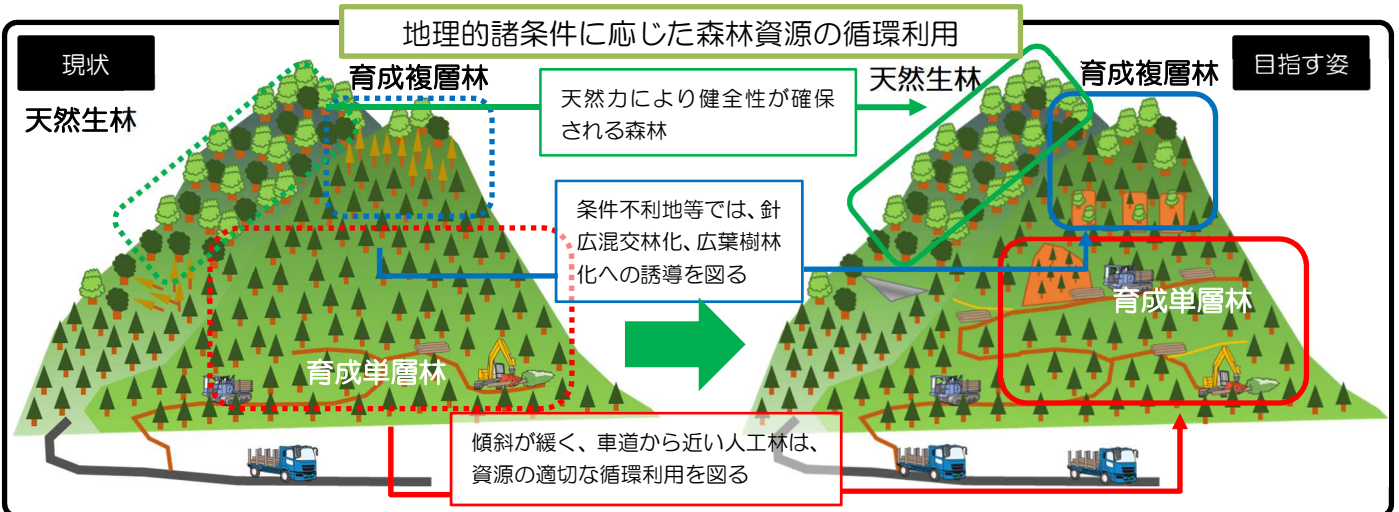
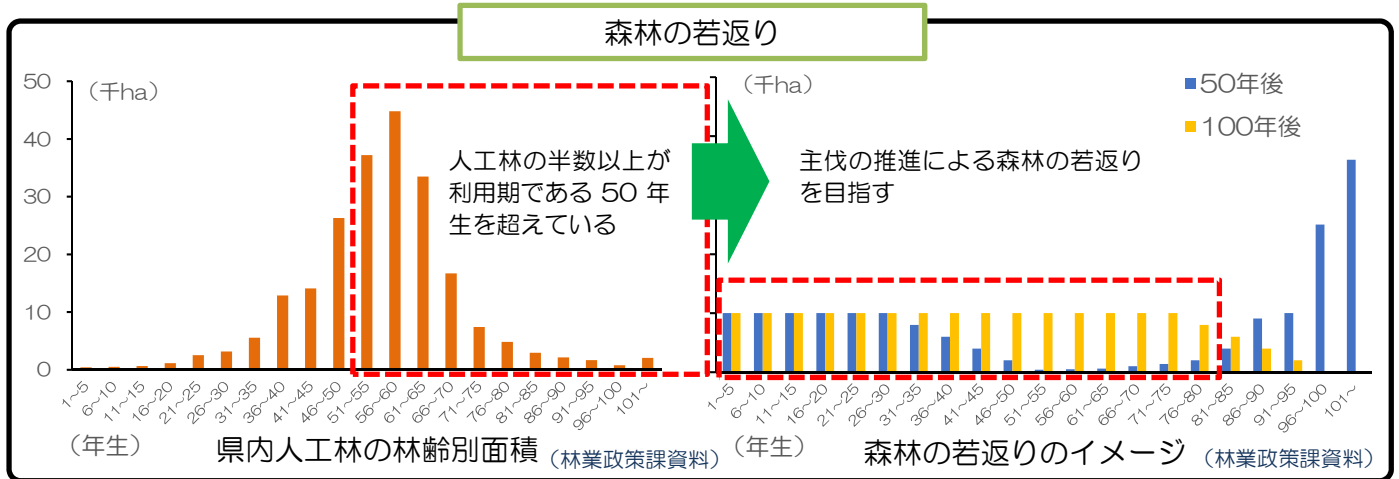


持続可能な森林の経営を支援します

本県の森林面積は、過去半世紀にわたりほぼ横ばいで推移し、その蓄積量は天然林、人工林とも年々増加しています。このうち本県の森林面積の約6割を占める人工林の半数以上が、利用期である50年生を超えていることから、主伐・再造林の推進による森林の若返りや、地理的諸条件に応じた森林資源の循環利用を促すとともに、森林認証制度の取組や特用林産物の生産振興に対する支援を行うなど、持続可能な林業経営の確立を目指します。

具体的な推進事項

- 主伐の推進による森林の若返りを目指します
- 地理的諸条件に応じた森林資源の循環利用を促進します
- 市町が行う「森林経営管理制度」の取組を支援します
- 森林認証の取得と認証材の活用を促進します
- 山村地域の貴重な収入源である特用林産物の生産振興を図ります



県民ニーズに応えた森づくりを推進します

森林は県土の保全、水源かん養、地球温暖化の防止、木材等の林産物の供給など多面的機能を有しており、その発揮を通じて私たちの生活に様々な恩恵をもたらしています。このような中、森林や林業の役割を理解できるよう、県民や企業など、たくさんの人々が触れ合える森づくりを推進するとともに、次代を担う子供から大人までを対象に森林環境教育や木育を実施します。また、国民病ともいわれる花粉症の発生源対策に取り組むなど、県民ニーズに応えた森づくりを推進します。

具体的な推進事項

- 県民総ぐるみで森林を守り育てる意識の醸成を図ります
- 県民や企業等の様々な主体による森づくりを推進します
- 教育関係機関と連携して森林環境教育や木育を推進します
- スギ無花粉品種の開発や植替促進など花粉発生源対策に取り組みます



県植樹祭



あひめ山の日の集い



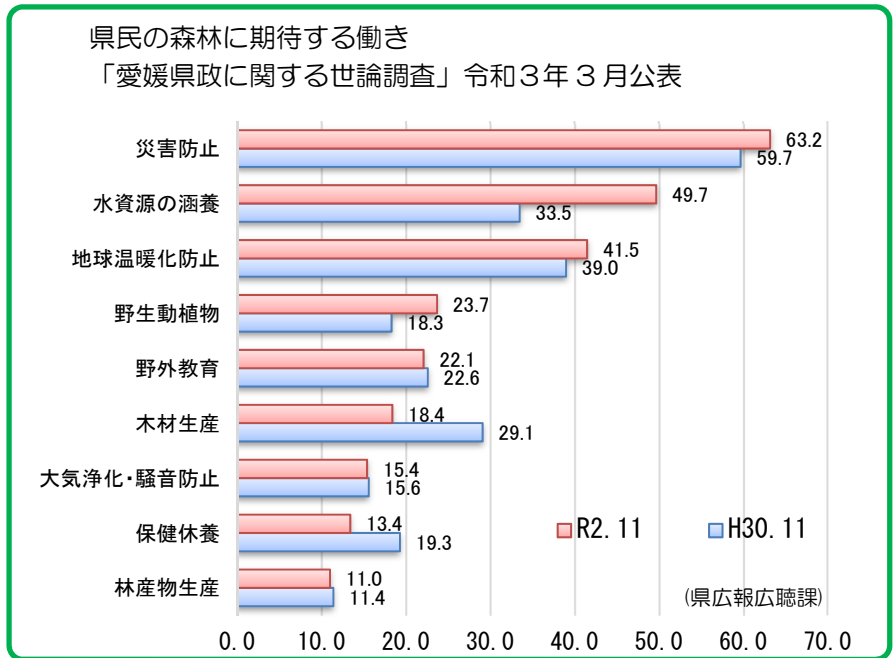
森林環境教育（木育）



企業等による森づくり



緑の募金活動

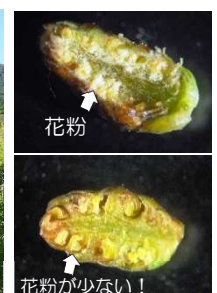


ダークみきゃんの
森林林業レポート

～花粉の発生の少ない森林づくり～

県民の3～4割が罹患していると言われる“花粉症”の対策として、花粉の発生が少ないスギ品種の、採種園の造成、苗木の生産、そして、それらの品種への植え替えを行っているダーク！

【写真左：御槇採種園、右：通常スギ（上）、少花粉スギ（下）雄花内部】



第4章 水産業編

1 水産業編の概要図

基本方向

水産業を担う「人づくり」、水産業で輝く「モノづくり」、水産業を支える「地域づくり」を基本方向とし、「持続可能な水産業の確立」と「成長産業化の促進」を両輪とし、令和の時代に向けた改革の推進に「愛媛力」で挑戦します



水産業を担う「人づくり」

～えひめの水産業を支える担い手を確保・育成します～

新規就業者の確保・就業後の経営安定化のサポート、次世代を担う若手リーダーの育成、漁業のスマート化による省力化・効率化推進、外国人労働力の積極的な活用、漁労作業中の事故防止 など



水産業で輝く「モノづくり」

～えひめの水産業の発展を目指します～

魚礁・増殖場の整備や藻場・干潟の保全再生、栽培漁業・資源管理型漁業の推進、養殖業の新技術の開発、真珠産業の振興、研究開発への先端技術の積極的な導入、県産水産物の価値創造、海外販路の規模拡大 など



水産業を支える「地域づくり」

～えひめの水産業を育む地域づくりに取り組みます～

漁業経営基盤の維持・発展の支援、漁業協同組合の組織強化の推進、女性の活躍の場の拡大、津波等に備えた漁港の防災対策、インフラ整備・水産関連施設整備、流域社会と一体となった内水面漁業の振興、交流人口増加による漁村への理解促進と活性化の推進 など

[計画期間] 令和3年度～令和7年度

[主要指標] 漁業産出額：900億円

※種苗生産額は含まない

[関連計画] 愛媛県資源管理指針、愛媛県栽培漁業推進基本計画、愛媛県真珠振興計画 など

2 取り組んでいく施策

(1) えひめの水産業を支える担い手を確保・育成します

新規就業者の確保に積極的に取り組みます

県内外へ本県水産業の魅力を発信し、意欲ある人材を積極的に受け入れ、次世代の水産業を担う人材の確保・育成やそれを支える体制の構築に努めます。

具体的な推進事項

- インターネットや就業フェアを活用し、就業支援につながる情報発信に取り組みます
- 水産高校等と連携し、後継者育成を推進します
- インターン制度を充実させ、就業しやすい環境づくりに努めます
- 愛媛県漁業協同組合を核として、就業希望者と関連団体とのマッチングや担い手育成に努めます

本県の水産業に関する情報をインターネットや就業フェアで、県内外の就業希望者に対して発信し、興味や関心をもってもらうとともに、水産高校生や就業希望者へのインターン制度を充実させ、実際の水産業を体験することで実態認識を深めることにより、就業後のギャップがない環境づくりに努めます。

就業にあたっては、愛媛県漁業協同組合のスケールメリットを活かし、就業希望者と県内漁業関係者とのマッチングを行うとともに、就業受入体制の整備・充実を進めます。



都市部での漁業就業フェア



大阪や福岡などの都市部で開催される漁業就業フェアで、就業者を求める漁協等がブースを設置し、就業を希望する方との面談によって、研修・就業先をマッチングしていくきゃん。双方が合意すれば、長期研修などを経て、就業することになるきゃん。

新規就業者の経営の安定化をサポートします

新規就業者の漁業技術の底上げや経営初期に必要な資金面の支援、新規就業者間のネットワークづくりなどの取組を推進することにより、新規就業者が定着しやすい環境づくりを整えます。

具体的な推進事項

- IoT 技術を活用し、漁業技術の見える化を図り、技術の底上げに努めます
- 漁船や漁具のリース制度等の活用により、起業時のイニシャルコストの低減を支援します
- 新規就業者間のネットワークづくりを支援し、就業後の人的なフォローアップをします

漁業に必要な技術は、漁獲や養殖の技術だけでなく、漁船の操船、漁具の補修、漁獲物の鮮度保持など多岐にわたるうえ、このほとんどが経験則で培われており、新規就業の妨げになっています。そのため、IoT 技術等を活用するなどデジタル化を進め、漁業技術の見える化を推進することで、スムーズに就業できる環境づくりを目指します。

また、新規就業のためには、漁船や漁具を準備するための経済的な負担も大きいため、漁船や漁具のリース制度、漁業経費には制度資金を活用し、起業時のイニシャルコストを抑えるための支援を行います。

また、新規就業者間のネットワークづくりを支援することにより、お互いに情報交換やアシスト（支援）できる体制の構築に取り組みます。



瀬戸内海での漁船漁業の操業



宇和海での魚類養殖



国のリース制度などを活用し、漁船や漁具などの取得を容易にすることで、就業までのハードルを下げる取組を行っているきゃん。

また、平成 29 年度からは、新規就業直後の担い手に、漁業経費等へのサポートも行っているきゃん。

意欲的な漁業者の育成・支援を行います

次世代を担う若手リーダーの育成や先端技術の普及、新たな販路開拓に努めることで、本県の水産業が未来に向かって羽ばたくきっかけづくりを支援します。

具体的な推進事項

- 水産業普及指導員が現場を巡回し、技術指導を行います
- 漁村の若手リーダーの育成に積極的に取り組みます
- 先端技術や先端機器の導入等に取り組む漁業者を積極的に支援します
- 県の試験研究機関が開発した技術等の普及に努めます
- 漁業者による直接販売や 6 次産業化など新たな販路開拓への取組に対して積極的に支援します
- 魚価向上につながる漁業者と流通業者の連携システムの構築を支援します

将来の本県の水産業をけん引するリーダーとなる人材を育成するため、地域の核となって前向きに頑張る漁業者を積極的に支援します。

水産研究センターや国の試験研究機関等が開発した技術等の普及を、水産業普及指導員が積極的に進めるとともに、先端技術や新たな機器導入等に取り組む漁業者を支援します。

生産技術だけでなく、近年拡大しつつある EC 等を活用した新しい販売への取組や 6 次産業化への取組、さらには漁業者と流通業者との情報共有による連携システムの構築など、新たな販売チャネル開拓へのチャレンジに対して支援します。



アサリの垂下増殖



アサリの天然採苗



水産研究センター等が開発した新たな技術を積極的に取り入れたり、他県の優良事例を参考にしたりして、漁家所得の向上などに取り組む意欲的な担い手をサポートしているきゃん。

写真は、水産研究センターが開発した技術を使ってアサリ増殖に取り組んでいるきゃん！so cool！

就労環境の改善・労働力の確保を行います

かつては3Kと呼ばれることもあった、水産業の就労環境を改善するため、新しい技術の導入による作業負担の軽減やワークシェアリングによる労働時間の縮減を支援することで、より働きやすい環境づくりを目指します。

具体的な推進事項

- 漁業のスマート化を図り、作業の省力化・効率化に努めます
- 不足しがちな労働力を確保するため、外国人労働力の積極的な活用を支援します
- 水福連携による取組を支援します
- ワークライフバランスの取れる産業構造の構築を目指します
- 海上保安部等と連携して安全啓発活動を行い、漁労作業中の事故等の防止に努めます

漁労作業は技術の結晶であり、その進化によって現在の水産業が成り立っていますが、漁村の過疎化や就業人口の減少に歯止めをかけるため、これまでの漁労作業を見直し、先端技術の導入や創意工夫による、より働きやすい環境づくりをサポートします。

また、労働力不足を解消するための支援として、日本人労働者の人材育成のみならず、外国人労働者の活用や水福連携の取組を導入することで、子育て支援にも寄与するワークシェアリングを行うとともに、時間的制約が多い活魚や鮮魚以外の商品の導入などによってもその改善を図り、ワークライフバランスのとれる産業構造の構築を目指します。

また、海上作業は総じて危険を伴うため、海上保安部等と連携して安全啓発活動を積極的に行うことで、漁労作業中の事故等の防止に努めるなど、働きやすい環境づくりに取り組みます。



県取締船による啓発活動



平成30年2月から、ライフジャケットの着用が義務づけられたきゃん（違反点数の付与は令和4年2月以降）。海難事故防止の観点から、各種の会合などを通じて、県からもライフジャケットの着用に向けた普及啓発を行っているきゃん。

(2) えひめの水産業の発展を目指します

持続的な生産が可能な海づくりに取り組みます

効率的な漁獲が可能な魚礁漁場や資源増大に向けた増殖場の整備を行うとともに、栽培漁業、資源管理型漁業を推進することで、豊かな海づくりに取り組み、その維持発展を図ることにより、儲かる漁船漁業の仕組みづくりに努めます。

具体的な推進事項

- 魚礁・増殖場の整備や藻場・干潟の保全再生に積極的に取り組みます
- 放流対象魚種の種苗生産技術や放流手法の向上に努めます
- 漁獲報告や採捕停止措置等により資源管理制度を推進します
- 有用魚種の資源管理を行う上で必要な調査を積極的に行うことで、水産業の持続的な発展に努めます
- 国の研究機関等と連携し重要資源の新たなモニタリング手法や管理方法の開発に努めます
- 円滑な操業に向けた漁業調整を行うとともに、県漁業取締船による広域的な漁業取締を行うことで、漁業秩序の維持に努めます。

沿岸域における藻場・干潟の保全、浅海域における増殖場の造成、沖合域における魚礁の設置、整備された増殖場への種苗放流による保護育成を行うことで、一体的に水産環境の整備を推進します。有用資源の増大に向け、愛媛県栽培漁業推進基本計画に基づき、放流対象魚種の種苗生産技術の開発や放流手法の向上に取り組むとともに、有用魚種の資源管理に対する指導及びそのために必要な調査を積極的に行い、資源管理を実効性のあるものとしします。また、水産資源の状態をよりの確に把握し、増大させるための、新たなモニタリング手法や管理手法の開発に努めます。さらには、漁業調整により円滑な操業環境の醸成を図るとともに、漁業取締船の機能を維持・強化し、実効性の高い漁業取締を行い、漁業秩序を維持することで、漁業者の負託に応えます。



魚礁・増殖場の整備



資源管理：カタクチイワシ漁



魚を集めて効率的に漁獲するための魚礁や、稚魚の餌になる生物の発生を促し、外敵から身を守るための隠れ場所となる、増殖場の整備を計画的に進めているきゃん。また、資源が減少していたサワラやカタクチイワシなどでは、漁業者の自主的な資源回復への取組をサポートしているきゃん。

養殖業のさらなる発展に努めます

新しい養殖の技術の開発や、既存技術の改良を推進するとともに、生産から販売まで一貫した方針に基づく真珠産業の振興に取り組みます。

具体的な推進事項

- 媛スマ（スマ）やサケ類といった新たな養殖魚種の開発や、ブリなど本県主力魚種の優良系統選抜の研究に取り組みます
- 生産コスト削減に向けた低魚粉飼料の普及や、対応品種の系統選抜に取り組みます
- 魚病や赤潮による漁業被害を軽減するための技術開発・研究を行います
- 漁場改善計画の着実な実行により持続的な養殖生産に努めます
- アコヤガイ稚貝大量へい死対策や、優良ピース貝・母貝の生産技術開発に取り組みます
- 真珠振興計画に基づき、生産から販売に至るまで一体となった真珠産業の振興に努めます
- 漁場の環境変化に対応する藻類養殖技術の開発を行います

魚類養殖業及び藻類養殖業については、各種研究開発による養殖技術の底上げに加え、新たな養殖対象種を開発し、魚種の多様化を図ることで、産業の活性化を図ります。

真珠養殖業については、愛媛県真珠振興計画に基づき、生産から販売に至るまでの一貫した方針の基、産業の活性化を図ります。また、令和元年度に発生したアコヤガイ稚貝大量へい死については、原因究明や強い貝づくりを進めるとともに、品質の高い真珠を生み出すピース貝や母貝の生産技術開発にも継続して取り組みます。

また、養殖を営む漁業権漁場については、漁場を適切かつ有効に活用している漁業者の意見を聴いた上で、その利用を確保しつつ、海面の有効利用に努めます。



媛スマ



アコヤ真珠



愛媛の魚類養殖業の生産は、マダイとブリ類が約9割を占めていることから、魚種の多様化が課題となっており、媛スマなどの新たな養殖魚種を開発を行っているきゃん。

また、令和元年度にはアコヤガイ稚貝の大量へい死が発生しており、これに対応するため環境の変化に強いアコヤガイを開発しているきゃん。すごいきゃん！

未来を見据えた試験研究開発に取り組みます

インターネット技術の進歩や社会情勢の変化に対応した試験研究に積極的に取り組むとともに、開発した技術の積極的な情報発信や他機関と連携した研究開発を推進します。

具体的な推進事項

- ICT、IoT、AI を活用した試験研究を積極的に進めます
- 水産研究に関する情報発信や教育を積極的に行います
- 高度化・複雑化する漁業者のニーズに応える研究を行うため、水産研究センターの機能向上に努めます
- 大学や国の研究機関との連携による研究開発を積極的に進めます

県の試験研究開発については、社会的なインフラとなっている ICT、IoT、AI を活用した各種試験研究を実施します。研究にあたっては、大学や国の研究機関とも連携し、より短期間で着実に成果につながる研究体制を構築するとともに、開発した技術や研究成果については、水産業普及指導員とも連携し積極的に現場にフィードバックするほか、広く情報発信も行います。

また、設置から 40 年以上が経過した水産研究センターについては、現在の高度化・複雑化する漁業者のニーズに応える研究を行うため、新たな研究手法や技術に対応した施設の計画的な整備に努めます。



県水産研究センター



同海洋環境分析



現在の水産研究センターは、昭和 55 年に宇和島市下波に建設され、これまでも、マハタ、クエ、媛スマなど新たな養殖魚種や高品質な真珠を生産できるアコヤガイの開発、漁海況や赤潮などの調査で多くの成果を上げてきたきゃん。

これからも漁業者のニーズに応えるため、施設の更新を行い、時代に対応した試験・研究に取り組んでいくきゃん。

県産水産物の価値創造に努め、民間活動をアシストします

愛育フィッシュをはじめとする県産水産物の優位性を前面に押し出した取組を県が行うことで市場価値を創造し、民間活動が効果を発揮できるよう努めます。

具体的な推進事項

- 愛育フィッシュのネームバリューの向上に努め、民間活動のアシストをします
- スーパーや料理教室での食べ方提案や魚食教育を行うことで、地産地消を含めた家庭内での消費拡大を促します
- 高級料理店をターゲットにした活動で、愛育フィッシュの価値の底上げを図ります
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、効果的な情報配信を図ります
- 県産真珠の新たな購入層の開拓に向けたPR活動を行うことにより、民間活動をアシストします

魚類養殖生産日本一の本県で生産される養殖魚の総称「愛育フィッシュ」のネームバリューの向上のために、県が率先して愛育フィッシュのプロモーション活動を行うことで、社会的認知度と信頼度を上げ、それらを販売していく民間事業者をアシストします。また、家庭生活における愛育フィッシュの消費拡大のための取組や、高級料理店等での価値創造により、愛育フィッシュがより活躍しやすい環境づくりを行い、さらにはDXの推進によってそれらがより効果的なものとなるよう、取り組みます。

真珠については、ターゲット層を変えた新たな価値をPRし、従来とは異なる顧客層の開拓のための活動を支援することにより、マーケットの拡大に努めます。



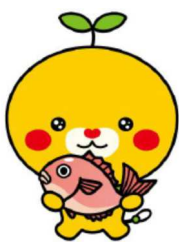
愛育フィッシュ（マダイ）



マダイの食べ方提案



媛スマのPR



～水産王国えひめの強み～

- 瀬戸内海（漁船）、宇和海（養殖）とバラエティに富んだ水産業
- 全国随一の産業クラスターを形成
- マーケットニーズに柔軟に対応できる業態
- 多量多品種養殖
- 養殖に適した海

これらの強みを全面に押し出したプロモーション活動を展開し、民間活動のアシストをしているきゃん。



魚類養殖日本一の愛媛から養殖魚のイメージを変えようと、2012年（平成24年）3月に愛称が決定したきゃん。愛媛県の養殖魚の包括的なネーミングとして、このロゴを活用したフェア等販売促進活動を官民一体となって進めているきゃん。

海外販売への積極的な支援を行います

これまで開拓してきた海外販路の規模拡大や、新たな仕向先の開拓に官民一体となって取り組むことにより、さらなる輸出の拡大を目指します。

具体的な推進事項

- 愛育フィッシュを核とした輸出拡大活動に官民一体となって取り組みます
- 輸出に必要な各種証明書の発行を迅速に行い、輸出の円滑化に努めます
- 欧米向け輸出等で求められる HACCP への対応について支援します
- SDGs に寄与する漁業認証など、マーケットインの視点に立った商品アイテムを増やすための取組を支援します
- 海外での真珠の販路開拓に取り組みます

これまで県では、愛育フィッシュ輸出促進共同企業体（通称：オレンジウエーブ）とともに、中国、アセアン、中東、北米等で輸出拡大活動を官民一体となって行ってきましたが、今後もこれまで培ってきたノウハウを活かして規模の拡大を行うとともに、新たな仕向先の開拓にも官民一体となって積極的に取り組んでいきます。

輸出に必要な産地証明といった輸出障壁への対応のほか、HACCP への対応や SDGs に寄与する漁業認証の取得などを支援することにより、輸出の円滑化に努めます。

真珠については、国内マーケットだけでなく、海外マーケットへの販売を促進することで、需要の拡大を進めます。



カナダトロント和食まつり



アメリカヒューストンでのフェア



海外向け PR



～カナダトロント和食まつり～

2019年11月18日にカナダトロントで開催された、県産品を使った日本食イベント「和食まつり」にて、現地レストラン関係者等に対して知事トップセールスを行ったきゃん。当日は、現地のトップシェフたちが集結し、現地の富裕層250名に対して、熟練の技が披露され、愛媛の食材をふんだんに使った高級料理が存分にふるまわれたきゃん。さらに、紅まどんな、ひめの凧といった愛媛自慢の高級農産物や地酒も多数そろえ、トロントは愛媛一色になったきゃん。

この取組によって、カナダトロントでの愛媛県産農林水産物の知名度は大幅にアップし、今後の輸出拡大につながることで大きく期待されているきゃん。

(3) えひめの水産業を育む地域づくりに取り組みます

漁家経営の安定化と漁村のさらなる組織強化をサポートします

資源環境や社会経済情勢に大きく左右されやすい漁家経営の安定化を図るとともに、水産業を支える漁業協同組合のさらなる組織強化をサポートします。

具体的な推進事項

- 漁業経営基盤の維持、発展に必要な金融支援を行います
- 不測の事態に備えた漁業共済やセーフティネットなど各種補償制度の活用を支援します
- 本県の水産業を支える県漁協のさらなる活躍を系統組織と連携してサポートします
- 漁業協同組合のさらなる組織強化を後押しし、より強固な漁業基盤を構築します
- 漁協役員への青年漁業者の登用を促進します
- 常例検査の実施等により、漁協の健全経営を確保します
- 漁業者の収益増加やマーケットインの視点に立った漁業構造の確立を目指します

安定した漁業経営を行うために必要な金融支援として貸付原資の融通や利子補給を行うとともに、漁業共済やセーフティネット、漁船保険など不測の事態に備えるための補償制度の活用を支援し、漁家経営の安定化を図ります。

令和2年4月に県下の43組合が合併し、組合員数や販売取扱高が全国トップクラスの漁協として設立された愛媛県漁業協同組合に対して、スケールメリットを活かした販売等の活動に対する積極的なサポートや、さらなる組織強化に向けた指導を行い、漁業者の負託に応えるとともに、より強固な漁業基盤が県下一円で構築されるよう努めます。

また、漁協役員への青年漁業者の参画によって、クリエイティブな漁協経営が進み、次世代につながる取組となることが期待されます。

さらには、漁業者の収益増加やマーケットインの視点に立った漁業構造の確立を目指します。



愛媛県漁業協同組合設立委員会

～県1漁協誕生～

令和2年4月1日に県下43漁協が合併し、「愛媛県漁業協同組合」が誕生しました。総組合員数7,468人、販売取扱高437億円と全国トップレベルの漁協として、愛媛の豊富な漁業資源をバックに、スケールメリットを活かした積極的な事業展開によって、日本の水産業をけん引する大きな役割を担うことが期待されています。

女性の躍進をサポートします

水産業における女性の活躍の場を拡大することにより、漁村の活性化、漁家の所得の向上、魚食普及による県産水産物の消費拡大を図ります。

具体的な推進事項

- 女性グループ組織の強化に取り組みます
- 魚食普及活動の担い手としての役割を充実します
- 商品開発や6次産業化の取組を支援します
- 女性グループ活動の起業化を支援します
- 女性の漁協正組合員としての加入による方針決定の場への参画を促進します

女性グループは、漁村において地域を支えているだけでなく、魚食普及や商品開発、6次産業化の活動、SDGsに寄与する環境保全活動など、様々な取組を行っており、水産物の消費拡大や地産地消の推進に大きな役割を担っています。それらの活動を持続的に発展させるため、積極的に支援するとともに、起業化につながる取組に対しても、サポートします。

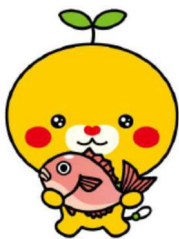
また、水産業における方針決定の場への女性の参画が少ないため、男女共同参画の推進の観点から女性の正組合員としての加入による参画を促進する仕組みづくりを働きかけることで、漁協のダイバーシティ運営を促進します。



愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部



株式会社あこやひめ



～農林水産大臣賞を立て続けに受賞！～
毎年、東京都で開催される「全国青年・女性交流大会」で、「愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部」が2017年に、「株式会社あこやひめ」が2019年に、同大会の最高賞の「農林水産大臣賞」を立て続けに受賞したきゃん。
愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部は「加工直販施設「浜の台所 潮里（しおり）」の船出」と題し、苦勞を重ねながら地元加工直販施設を開設し、地域の活性化に努めた内容を発表し、(株)あこやひめは「真珠の輝きは絆の輝き」と題し、女性加工部から企業化までの道のりや、地元振興活動などを発表したきゃん。
これまでの活動功績が認められた素晴らしい結果で、これからの各地域での女性部活動をさらに元気づける、うれしい受賞きゃん。

漁村環境の整備に努めます

防災・減災対策、インフラ整備、水産関連施設整備を推進することにより、暮らしやすい、働きやすい漁村環境の整備に努めます。また、漁場の管理・保全や過疎化が進む離島集落への支援を行うことで次世代につながる漁村環境を維持します。

具体的な推進事項

- 津波・地震・高潮に対応した漁港の施設整備に取り組みます
- 老朽化した施設の維持管理に努めます
- 漁村の生活環境を改善するため、排水施設等の整備を支援します
- 浜の活力再生プラン等による水産関連施設の整備をサポートします
- 漁場の管理・保全、離島集落の活動に対する支援に取り組みます

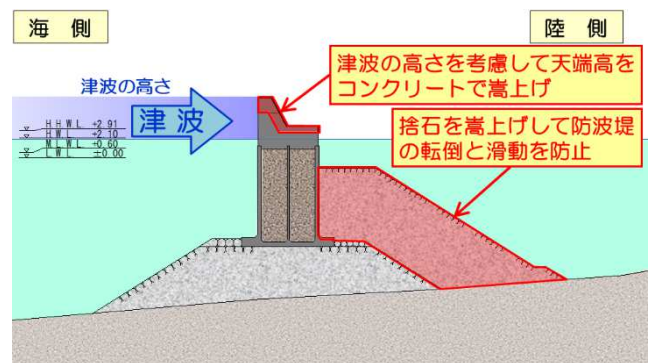
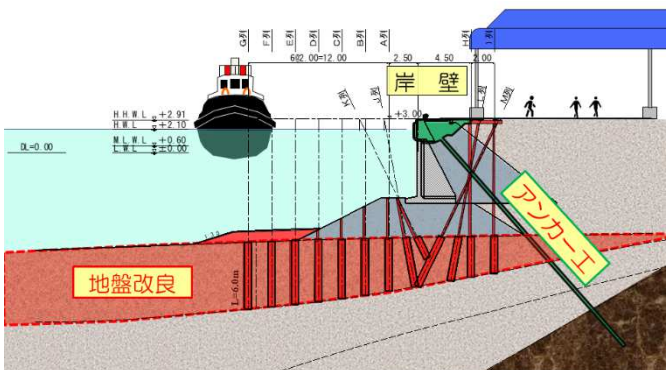
地域のインフラを充実させるため、津波等に備えた防災対策として漁港の施設整備に努めるほか、老朽化した施設の維持管理や更新、生活環境改善につながる排水施設の整備を支援するとともに、浜の活力再生プラン等に基づく水産関連施設を整備することにより、より暮らしやすく働きやすい漁村環境の整備に努めます。

漁業者等が漁場の管理・保全活動に積極的に取り組むことにより、自らの漁場の生産性の向上に加え、海洋環境の改善を進めるとともに、意欲のある離島集落の活動に対しても継続した支援を行います。

～深浦漁港における地震・津波対策の事例～



深浦漁港は、近い将来、発生が予測されている南海トラフ地震発生後の避難・緊急輸送物資の輸送等の防災拠点漁港として位置付けられていて、背後地域の被害軽減や発災後の地域水産業の早期再開を図るため平成 26 年から耐震強化岸壁への改良、防波堤の耐震・耐津波強化対策を実施しているきゃん。



内水面漁業の維持発展に取り組みます

海面と一体となったサケ類の養殖や、内水面資源に甚大な被害をもたらす外来生物等の対策、流域社会と一体となった環境保全活動などを通じて、内水面漁業への理解を深めます。

具体的な推進事項

- 海面と一体となったサケ類養殖に取り組みます
- 内水面資源にやさしい川づくりに取り組みます
- 外来生物やカワウによる内水面資源に対する被害の防除や低減に取り組みます
- ウナギ資源を保護するため、幼魚から成魚に至るまで一貫した管理に努めます
- 内水面資源保全意識の醸成に努め、流域社会と一体となった内水面漁業の振興に取り組みます

近年本県で養殖が始まった海面でのサケ類養殖用の稚魚を内水面で生産する取組が進められており、海面と一体となって活性化を進めます。また、従来からの内水面漁業においては、外来生物やカワウによる食害に加え、護岸整備による水生生物の産卵場や生育場の減少が問題になっているため、これらの解決に取り組みます。さらに、本県の重要資源の一つであるウナギについては、シラスウナギから成魚に至るまで一貫した資源の保護と管理を行うことで、持続的な利用を図ります。

河川や湖沼などの内水面は県民のレクリエーションの場としての機能も有していることから、内水面資源保全意識の醸成に努めるとともに、流域社会と一体となった内水面漁業の振興に取り組みます。



稚魚（内水面）



成魚（海面）



県内河川でのアユ釣り



カワウ

海面と一体になったサケ類養殖



海で養殖するサケ類は、1年ほど内水面で育てる必要があるから、内水面と海とが連携して養殖に取り組んでいるきゃん。内水面漁業協同組合等はアユやアマゴなどの種苗を放流するなど、資源の増殖に努めていて、県民の手軽なレクリエーションの場となっているきゃん。一方、近年はカワウの食害が発生していることから、県では平成29年にカワウ管理指針を策定し、漁業被害の低減を図ってるきゃん。

漁村の魅力を発信し、交流人口の増加を図ります

地域の特色を活かした漁業体験等を積極的に行うことで、交流人口の増加を図り、漁村への理解促進と活性化を図ります。また、遊漁者や遊漁船業者への啓発活動を積極的に行うことで、ルールとマナーを守った漁場利用を促進します。

具体的な推進事項

- 魅力的な漁業体験プログラムづくりに取り組みます
- 地域水産業の特色を活かした取組を支援します
- 遊漁者、遊漁船業者への啓発活動を積極的に行います

漁業体験プログラムの実施や地域水産業の特色を活かした漁家レストランの取組などを支援することにより、交流人口増加による漁村の活性化を促進します。

また、漁業者と遊漁者とのトラブルが発生しないよう、海面の利用についてルールとマナーを遊漁者や遊漁船業者に対して啓発することで、漁業者の生活の場である海の利用が損なわれることなく、海洋レジャーのフィールドとしての利用とも共存できる海の有効活用を図ります。



漁業体験イベント（地びき網）

遊漁を楽しむみなさんへ

「ルールを守って楽しい遊漁を」

海は、自然に親しみ明日の活力を得る健全なレクリエーションの場です。一方、漁業者にとって海は、生業の場であり、生活の基盤です。漁業者と遊漁者の相互理解の中で、遊漁を楽しむため、海端のマナー、遊漁に関する法律や規則を守りましょう。

秩序ある遊漁

- ◎ 海をきれいにしましょう。
(ビニール、空き缶、空き箱などのごみや、残餌、釣針、釣糸は責任をもって処理しましょう。)
- ◎ 漁具、養殖施設等の周辺及び操業中の漁船のまわりでは、釣りを慎みましょう。
- ◎ 遊漁を行う上での制限や禁止事項を守りましょう。

安全な遊漁

- ◎ 安全に心がけましょう。
(天候に注意して避難防止に努めましょう。)
- ◎ 危険なところに立ち回らないようにしましょう。
- ◎ 港の入口等危険な場所での遊漁はやめましょう。



遊漁船では

- ◎ 出航から帰航までの間、船長及び業務主任者の指示に従ってください。
- ◎ 遊漁船の航行中は、むやみに立ち歩かないでください。
- ◎ 救命胴衣を着用しましょう。(機等の上でも同様です。)
- ◎ 船からのまきえづりは禁止されています。



要領内の沿岸域には共同漁業権が設定されています。遊漁者の方が、アフリ、サザエ、ワカメなどの水産動物を採捕すると、漁業権侵害や遊漁者漁業規制違反となりますので採捕しないでください。

遊漁者向け PR



漁村への理解促進と活性化を目的とした漁村体験イベントは、近年、各地で行われるようになったきゃん。イベントは、漁業体験のほか、漁獲した新鮮な水産物をバーベキューにして食べたりするなど、魚食普及の側面も持ち合わせているきゃん。

海の豊かさ、大切さを後世に伝える取組は、SDGsの「海の豊かさを守る」ことにつながる大切な取組で、愛媛のみならず、日本が太古から大切にしてきた海を未来につなげる重要な役割を果たしているきゃん。

用語の解説（農業）

（1）五十音順

あ行	
遺伝資源	植物・動物・微生物等あらゆる生物に由来する素材であって、現実の又は潜在的な価値を有するもの。例えば、植物では品種改良の素材として活用される作物
エコえひめ農産物	化学合成農薬・化学肥料を県が定めた基準から3割以上削減し、生産情報の公表と適正な管理体制のもとで生産されたことを愛媛県が認証した農産物
エコファーマー	平成11年7月に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」第4条に基づき、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を都道府県知事に提出して、当該計画が適当である旨の認定を受けた農業者の愛称名
か行	
家族経営協定	家族で営農を行っている農業経営において、家族間の話し合いを基に経営計画、各世帯員の役割、就業条件等を文書にして取り決めたもの
グリーン・ツーリズム	農山漁村において自然や文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動
荒廃農地	現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地
さ行	
集落営農	集落等地縁的にまとまりのある一定の地域内の農家が農業生産を共同して行う営農活動。転作田の団地化、共同購入した機械の共同利用、担い手を中心となって取り組む生産から販売までの共同化等、地域の実情に応じてその形態や取組内容は多様である。
食料自給率	我が国の食料全体の供給に対する国内生産の割合を示す指標 このうち、供給熱量（カロリー）ベースの総合食料自給率では、分子を1人・1日当たり国産供給熱量、分母を1人・1日当たり供給熱量として計算 また、生産額ベースの総合食料自給率では、分子を食料の国内生産額、分母を食料の国内消費仕向額として計算
スマート農業	ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用して超省力・高品質生産を可能にする農業
た行	
地産地消	国内の地域で生産された農林水産物（食用に供されるものに限る。）を、その生産された地域内において消費する取組。食料自給率の向上に加え、直売所や加工の取組等を通じて、6次産業化にもつながる。
な行	
認定農業者（制度）	農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村が地域の実情に即して効率的・安定的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、この目標を目指して農業者が作成した農業経営改善計画を認定する制度
農業産出額	農業生産活動による最終生産物の総産出額。農産物の品目別生産量から、二重計上を避けるために、種子、飼料等の中間生産物を控除した数量に、当該品目別農家庭先価格を乗じて得た額を合計したもの
農業水利施設	農地へのかんがい用水の供給を目的とするかんがい施設と、農地における過剰な地表水及び土壌水の排除を目的とする排水施設に大別される。 かんがい施設には、ダム等の貯水施設や、取水堰等の取水施設、用水路、揚水機場、分水工、ファームpond等の送水・配水施設があり、排水施設には、排水路、排水機場等がある。このほか、かんがい施設や排水施設の監視や制御・操作を行う水管理施設がある。
農地中間管理機構	農用地等を貸したいという農家（出し手）から、農用地等の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手（受け手）へ農用地利用の集積・集約化を進めるため、農用地等の中間的受け皿となる組織
農地の集積・集約化	農地の集積とは、農地を所有し、又は借り入れること等により、利用する農地面積を拡大すること 農地の集約化とは、農地の利用権を交換すること等により、農地の分散を解消することで農作業を連続的に支障なく行えるようにすること
農福連携	農業分野と福祉分野が連携して、障がい者や高齢者等の農業分野への雇用・就労を促進する取組

は行	
人・農地プランの実質化	農業者の年齢や後継者の有無を「見える化」した地図を用いて、地域の農業者が話し合い、将来の農地利用を担う経営体の在り方を決めていく取組
や行	
遊休農地	農地法第 32 条第 1 項各号のいずれかに該当するもので、「現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地（第 1 号）」、「その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し著しく劣っていると認められる農地（第 2 号）」
ら行	
6 次産業化	農林漁業者等が必要に応じて農林漁業者等以外の者の協力を得て主体的に行う、1 次産業としての農林漁業と、2 次産業としての製造業、3 次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組

(2) アルファベット順

A	
AI	Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。学習・推論・判断といった人間の知能の持つ機能を備えたコンピュータシステム
G	
GAP	Good Agricultural Practice の略で、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組
GLOBALG.A.P.	ドイツの Food PLUS GmbH が策定した第三者認証の GAP。青果物及び水産養殖に関して GFSI 承認を受けており、主に欧州で普及 *GFSI とは Global Food Safety Initiative の略で、世界食品安全イニシアティブのこと。グローバルに展開する食品事業者が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け様々な取組を行う機関。平成 12（2000）年 5 月に、The Consumer Goods Forum（CGF：世界 70 か国、約 400 社のメーカー、小売事業者、サービス・プロバイダーによる国際的な組織。）の下部組織として発足
I	
ICT	Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称
IoT	Internet of Things の略で、モノのインターネットのこと。世の中に存在する様々なモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りして、自動認識や自動制御、遠隔操作等を行うこと
S	
SDGs	平成 27（2015）年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、令和 12（2030）年を期限とする国際社会全体の開発目標。飢餓や貧困の撲滅、経済成長と雇用、気候変動対策等包括的な 17 の目標を設定。法的な拘束力はなく、各国の状況に応じた自主的な対応が求められる。 国では、平成 28（2016）年 5 月に、SDGs の実施のために閣議決定で「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を設置。同年 12 月に SDGs 実施のための我が国のビジョンや優先課題等を掲げた「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」を、平成 29（2017）年 12 月には国の SDGs モデルの発信に向けた方向性や主要な取組を盛り込んだ「SDGs アクションプラン 2018」を同本部で決定。SDGs は Sustainable Development Goals の略
U	
UJI ターン	いったん大都市圏に流出した地方出身者が出身地へ帰住する U ターン、地方出身者が出身地まで戻らず、近くの中核都市等で職を得て安住する J ターン、都市圏出身者が地方に職を得て定住する I ターンの総称

用語の解説（林業）

（1）五十音順

あ行	
育成単層林	森林を構成する樹木の全部又は大部分を一度に伐採し、その後一斉に植林を行うこと等により、樹齢や樹高のほぼ等しい樹木から構成された森林
育成複層林	森林を構成する樹木を部分的に伐採し、その後植林を行うこと等により、樹齢や樹高の異なる樹木から構成された森林
えひめ山の日	森林と共生する文化を県民総ぐるみで創造するため、平成 16 年に「えひめ山の日」を制定した。森林に木が立ち並ぶイメージから 11 月 11 日としている。
エリートツリー	樹形や材質など優れた特長を持った木として選抜されたもの同士を、人工交配により掛け合わせて得られたもののうち、さらに優れた特徴をもったものとして選ばれた木の総称
か行	
間伐	育成段階にある森林において、樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採（間引き）し、残存木の成長を促進する作業
航空レーザ計測	航空機等に搭載されたレーザスキャナから照射するレーザによる反射を利用して地形等を計測する方法
更新	伐採等により樹木等がなくなった箇所に、人工的な植栽や自然の力を活用して、後継の森林を仕立てること
高性能林業機械	作業の効率化や身体への負担の軽減を図るため用いる機械のうち、従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて性能が著しく高く、複数の作業工程を行うことができる林業機械の総称
さ行	
再造林	人工林を伐採した跡地に再び人工的に植林などを行うこと
下刈り	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業
自伐林家	植栽から伐採までの一連を自力で行う林家のこと
主伐	伐期（一定の林齢）に達した樹木を収穫目的で伐採すること。間伐と異なり、伐採後、更新を伴う。
針広混交林	針葉樹と広葉樹が混合した森林のこと。針葉樹と広葉樹が生育していることから土砂の流出や地力低下の防備に利点がある。
森林経営管理制度	市町が主体となり、森林所有者から適正な管理が行えない森林を預かった上で、民間林業事業者と連携のもと、森林資源の有効活用と森林の多目的機能の向上を目的とした経営管理を進める制度
森林認証	独立した第三者機関が、森林経営の持続性や環境保全への配慮等に関する一定の基準に基づいて森林または経営組織などを認証するとともに、認証された森林から産出される木材及び木材製品を分別し、認証材として表示管理することにより、消費者の選択的な購入を通じて、持続可能な森林経営を支援する仕組み
水源涵養機能	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。また雨水が森林土壌を通過することで水質が浄化される。
スマート林業	地理空間情報や ICT 等の先端技術を駆使し、生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を可能とする林業の総称
施業集約化	施業の効率化を図るため、隣接する複数の森林所有者が所有する森林を取りまとめて路網整備や間伐等の森林施業を一体的に実施すること。施業の集約化により、路網の合理的配置や高性能林業機械を使った作業が可能となることから、トータル的なコスト削減が期待できる。
た行	
大径材	末口（丸太の細い方の木口）径が 30cm 以上の丸太
タワーヤード	簡便に架線集材ができる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での作業に向いている。
治山事業	森林の維持造成を通して、山地災害から県民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全事業

天然生林	自然の推移にゆだね、主として自然の力を活用すること（天然更新）により、保全・管理されている森林
特用林産物	本来、森林や原野から得られる産物のうち、一般木材を除いたものの総称。代表的なものとしては、しいたけ等のきのこ類、山菜類、竹材、桐材など
トラス	複数の三角形で構成する構造形式の総称
は行	
ハーベスタ	立木の伐倒、枝払い、玉切り（材を一定の長さに切りそろえること）の各作業と玉切りした材の集積作業を行うことができる自走式機械
媛すぎ・媛ひのき	JAS 規格に基づく、愛媛県独自の基準を満たす、品質や性能が確かなブランド材の名称
保安林	水源のかん養等特定の公共目的を達成するため、森林法に基づき農林水産大臣又は都道府県知事が指定した森林。伐採や土地の形質の変更が規制される。
ま行	
木育	子どもをはじめとするすべての人々が「木とふれあい、木に学び、木でつながる」取組のことで、人と木や森との関りを主体的に考える豊かな心を育むこと
木質バイオマス	「バイオマス」とは、生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、再生可能な生物由来の有機性資源のこと。その中で、木材からなるバイオマスを「木質バイオマス」と呼ぶ。主に、樹木の伐採や造材の時に発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮や鋸くずなどのほか、住宅の解体材や街路樹の選定枝などがある。
ら行	
林業イノベーション	厳しい地形条件等に起因する、3K林業（きつい・危険・高コスト）や、記憶・経験に頼る林業から脱却するため、ICT 等を活用し資源管理や生産管理を行う「スマート林業」や自動化機械の開発、早生樹等の育種などの技術革新により、伐採・搬出や造林の省力化・軽労化を図る取組
林業・木材産業産出額	農林水産省が発表する「林業産出額」（木材、薪炭、栽培きのこ類等の生産額）と、総務省・産業経済省が発表する「木材・木製日用品出荷額」（一般製材、集成材、木材チップ等の出荷額）の合計を県で集計したもの
林道	木材を主とする林産物を搬出するためや、林業経営に必要な資材を運搬するため、森林内に開設された道路
林福連携	「林業分野」と「福祉分野」が連携することで、福祉施設利用者が自信や生きがいを持てる社会参画を実現していく取組

(2) アルファベット順

C	
CLT（直交集成板）	ひき板を横に並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質材料
I	
ICT（情報通信技術）	用語の解説（農業）「ICT」を参照
L	
LPWA 通信	低消費電力（一度の給電で5～10年は無給電で稼働）、長距離通信（10kmを上回る通信が可能）、低通信速度（数 kbps～数百 kbps 程度）、低通信料金（月額数十円～数百円程度/1回線当たり）を特徴とする通信技術
U	
UJI ターン	用語の解説（農業）「UJI ターン」を参照

用語の解説（水産業）

あ行	
愛育フィッシュ	養殖魚のイメージアップのため、2012年（平成24年）3月に決定した本県の養殖魚の包括的なネーミング。愛称
愛育フィッシュ輸出促進共同企業体	通称オレンジウェーブ。県産水産物の輸出促進のため、販路拡大及び開拓を官民一体となって取り組む組織
イニシャルコスト	新しく事業を始めたり、機器等を導入したりする際にかかる費用のこと。初期費用ともいう。
伊予の媛貴海	愛媛で養殖しているスマのトップブランド。ブランド基準（魚体重2.5kg以上、脂肪含有率25%以上）を満たしたもの
インフラ	生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠な社会基盤
か行	
外来生物	もともとその地域にいなかったのに、人為的に他の地域から入ってきたブラックバス等の生物のこと。強い魚食性と繁殖力をもっているため内水面漁業において問題となっている。
カワウ	カワウは、カツオドリ目ウ科に分類される鳥類の一種。内水面漁業において、アユ等を食害するため近年問題になっている。鶺鴒で使われているウはウミウ
漁家レストラン	漁家によって直接経営されており、自家生産したものや地域で生産されたものを提供する飲食店
漁業共済	漁業経営の安定のため、不漁等による漁獲金額の減少や自然災害などによって受ける損失を補てんする保険（共済）制度
漁業産出額	漁業生産活動の実態を金額で評価したもの。魚種別漁獲量・収穫量に魚種別平均価格を乗じて推計している。
漁業認証	水産資源や生態系などの環境にやさしい方法、持続可能で適切に管理されている漁業であることを認証する仕組
漁場改善計画	養殖漁場環境の維持・改善を通じて持続的な養殖生産を確保するため、漁業者自らが対象となる水域や養殖の種類を定め、施設や体制の整備などを図るための計画
魚食教育	水産物の消費拡大を図るため、魚を食べることに加え、魚の生産、流通、消費、環境及び文化などを体系的に学習すること
漁船保険	沈没、座礁、火災などの事故によって、漁船の船体、機関や設備に生じた損害や、漁船を救助するために要した費用などに対する保険
系統選抜	動植物の品種改良の基本的な方法のひとつで、1系統から数個体を選び、この数個体を1つの系統群として、優良系統を選ぶこと
さ行	
栽培漁業	卵から稚魚になるまでの一番弱い期間を人の手で守り育て、外敵から身を守れるようになったら放流し、自然の海で大きくなったものを漁獲する漁業
産業クラスター	新事業が次々と生み出されるような事業環境を整備することにより、競争優位を持つ産業が核となって広域的な産業集積が進む状態
3K	きつい、汚い、危険の頭文字からくる俗語。労働環境の悪い職場をさす。
資源管理型漁業	水産資源を適切に管理し、持続的に利用するため、漁獲規制等による資源の保全・回復を行う漁業
種苗	栽培・増養殖漁業のために人工生産又は天然採捕した水産動植物の稚魚・稚貝等の総称
常例検査	漁業協同組合の業務又は会計の状況について、常例として行う検査
シラスウナギ	ウナギ稚魚の別称。体長5cm前後で、体は透明。黒潮に乗って東アジア沿岸に回遊し、日本では12月ごろから春先かけ、河口部で漁獲される。
水福連携	水産業と福祉分野が協力して商品を作る取り組みなどを行うことで、水産業の人手不足の解消や障害者の働く場の拡大を行うもの
セーフティネット	経営安定化のため、漁業用燃油や養殖用配合飼料の価格高騰に備えて漁業者、養殖業者が加入する補てん制度
た行	
ダイバーシティ運営	多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを生み出し、価値創造につなげていく組織運営

低魚粉飼料	魚粉配合率を減少させた飼料。魚粉に含まれる動物タンパクの代替として大豆絞り滓等の植物タンパクが使用される。
な行	
南海トラフ地震	駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100~150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震
ネームバリュー	世間での知名度
は行	
浜の活力再生プラン	漁業地域の活性化を目指し、で漁業所得を 5 年間で 1 割以上アップすることを目標に、「将来自分たちのあるべき姿」「取り組むべき課題」を整理したプラン
ピース貝	真珠の基となる核を挿入する時に用いる二枚貝の外殻膜の切片・小片を「ピース」と呼び、ピースを採取するためだけに用いられるアコヤガイのこと
干潟	海岸部に発達する砂や泥により形成された低湿地が、ある程度以上の面積で維持されている潮間帯
媛スマ	愛媛で養殖しているスマの総称。スマはスズキ目サバ亜目サバ科スマ属に分類される魚。愛媛県ではこのスマのブランド化のため、令和元年 11 月から愛媛で養殖したスマを「媛スマ」としてブランド化を進めている。
フィードバック	成果等を関係者に伝え、よりよい方向に導くこと
母貝	養殖真珠を生産するために母体となるアコヤガイ
ま行	
マーケットイン	消費者目線での商品の企画・開発を行い、生産者の都合でなく顧客が望む売れるものを作ること
モニタリング手法	水産資源の増減や魚体サイズなどを調べるため、漁獲情報の収集、仔稚魚調査を行う。
藻場	藻場とは、沿岸域に形成された様々な海草・海藻の群落のこと
や行	
遊漁者	レジャーを目的に海・川・湖沼で魚を取る者。遊漁はレジャーフィッシングとも言われる。
遊漁船業	船釣り業、磯渡し業などのこと。年に 1 回でも営利を目的として遊漁船業を営む場合は、県への登録が必要となる。
ら行	
6 次産業化	用語の解説（農業）「6 次産業化」を参照
わ行	
ワークシェアリング	雇用の維持・創出に加え、過重労働の防止を目的として、労働を多人数で分担して行うこと
ワークライフバランス	多様な働き方を推進することにより、仕事と生活の調和を図ること

(2) アルファベット順

A	
AI	用語の解説（農業）「AI」を参照
D	
DX	Digital Transformation の略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確保すること
E	
EC	electronic commerce の略。コンピューターネットワークシステムを介して行われる商取引
H	
HACCP	食品の製造・出荷段階の工程上のリスクを予測・分析し、被害を未然に防ぐ方法。EU 等の海外へ水産物を輸出するために必要
I	
ICT	用語の解説（農業）「ICT」を参照
IoT	用語の解説（農業）「IoT」を参照
S	
SDGs	用語の解説（農業）「SDGs」を参照

愛媛県農林水産部

〒790-8570 愛媛県松山市一番町 4-4-2

農政企画局農政課 Tel: 089-912-2510

森林局林業政策課 Tel: 089-912-2585

水産局漁政課 Tel: 089-912-2605

